

岐阜県感染症発生動向調査年報

2017年（平成29年）

岐阜県保健環境研究所

目次

I	感染症発生動向調査事業の概要	1
II	感染症発生動向調査結果	
1	全数把握対象感染症	3
(1)	一類、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症	3
(2)	二類感染症	3
(3)	三類感染症	4
(4)	四類感染症	5
(5)	五類感染症	7
2	定点把握対象の五類感染症	11
(1)	インフルエンザ定点	11
(2)	小児科定点	13
(3)	眼科定点	24
(4)	基幹定点	26
(5)	性感染症定点	34
3	感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症	38
	集計表	39

I 感染症発生動向調査事業の概要

平成 11 年 4 月に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において、感染症発生動向調査は感染症対策の主要な柱の一つとして位置づけられた。その内容は、感染症の発生情報の把握・分析と結果の提供・公開であり、岐阜県では国の定める「感染症発生動向調査事業実施要綱」に基づき「岐阜県感染症発生動向調査事業実施要領」を定め、保健環境研究所内に岐阜県感染症情報センター（岐阜県の基幹地方感染症情報センター）を設置し、医療機関協力の下、本事業を実施している。

1 調査対象疾患

本事業では、患者を診断したすべての医師が届出を行う全数把握対象感染症 87 疾患（一～四類感染症、五類感染症の一部、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症）と、指定届出機関が報告を行う定点把握対象感染症 27 疾患（五類感染症の一部及び感染症法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症）を対象としている（2017 年 12 月 31 日時点）。

2 指定届出機関

定点把握対象感染症の報告を行う指定届出機関（患者定点）は、インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、基幹定点、性感染症定点及び疑似症定点からなり、各定点の指定数は下表のとおりである。また、患者定点の中から病原体定点を選定し、病原体検索のため検体の提供を受けている。

表 指定届出機関の指定数（2017 年 12 月 31 日時点）
（数字は患者定点の数、カッコ内の数字は病原体定点の数）

定点種別	全県	保健所							
		岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
インフルエンザ定点	87 (10)	14 (2)	17 (1)	15 (2)	8 (1)	8 (1)	8 (1)	7 (1)	10 (1)
小児科定点	53 (6)	9 (1)	10 (1)	9 (1)	5 (1)	5	5 (1)	4	6 (1)
眼科定点	11 (2*)	2	2 (1)	3	-	1	1	1 (1)	1
性感染症定点	15	3	2	3	1	2	2	1	1
疑似症定点	101	23	17	19	12	7	10	7	6

定点種別	全県	圏域				
		岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨
基幹定点	5 (5)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)

※ 2017 年 4 月 1 日に東濃保健所から恵那保健所に病原体定点変更

3 患者情報の収集

患者情報は、全数把握対象感染症は診断後直ちに（五類感染症は 7 日以内）、定点把握対象感染症は週または月単位で、感染症発生動向調査システムにより、医療機関から保健所を通じて岐阜県感染症情報センターで収集している。また、収集した情報は、中央感染症情報センター（国立感染症研究所）に報告している。

4 病原体情報の収集

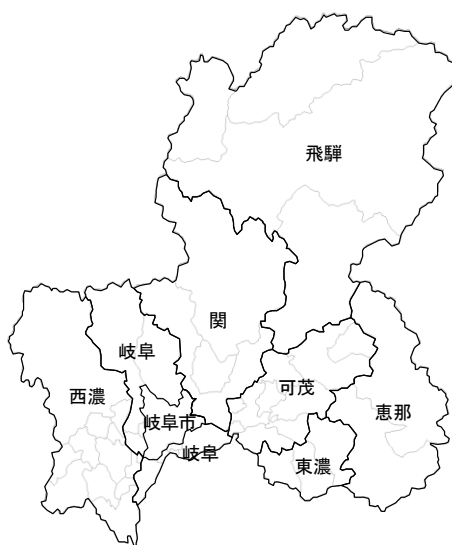
病原体定点から提供される検体や、医療機関等で患者から分離された病原体を収集し、岐阜県保健環境研究所または岐阜市衛生試験所において検査を実施し県内の病原体情報を収集している。収集した情報は、感染症発生動向調査システムにより中央感染症情報センターに報告している。

5 情報の解析・発信

収集した情報は週単位で集計・解析し、「岐阜県感染症発生動向調査週報」としてホームページに公開し、県内の医療機関、保健所、教育委員会等の関係機関に提供している。また、保育所や高齢者施設等の福祉施設や県民に対して、感染症の発生動向や予防方法をわかりやすく解説した「ぎふ感染症かわら版」の発行も行っている。

さらに、学識経験者、医療関係者、行政関係機関職員等で構成される岐阜県感染症予防対策協議会 感染症発生動向調査部会を月1回開催し、収集した情報の解析・評価を行うとともに情報共有を図っている。

(参考) 保健所区分



医療圏	保健所	市町村
岐阜	岐阜市	岐阜市
	岐阜	羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町
西濃	西濃	大垣市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町
中濃	関	関市、美濃市、郡上市
	可茂	美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
東濃	東濃	多治見市、瑞浪市、土岐市
	恵那	恵那市、中津川市
飛騨	飛騨	高山市、飛騨市、下呂市、白川村

II 感染症発生動向調査結果

2017年に感染症発生動向調査において得られた患者情報および病原体情報は次のとおりであった。

なお、全数把握対象感染症および週報告対象の定点把握対象感染症については、2017年第1週～第52週（2017年1月2日～2017年12月31日）に、月報告対象の定点把握対象感染症については、2017年1月1日～12月31日に診断された患者を集計対象とした。

また、病原体情報は、届出症例の検体について岐阜県保健環境研究所または岐阜市衛生試験所において実施した検査結果を示し、届出症例以外の疑い症例等を含む病原体検査実施状況については、巻末の集計表に示した。

1 全数把握対象感染症

(1) 一類、新型インフルエンザ等感染症^{※1}及び指定感染症^{※2}

一類感染症の報告はなかった。

※1及び2 該当なし

(2) 二類感染症

結核 448 例の報告があった。

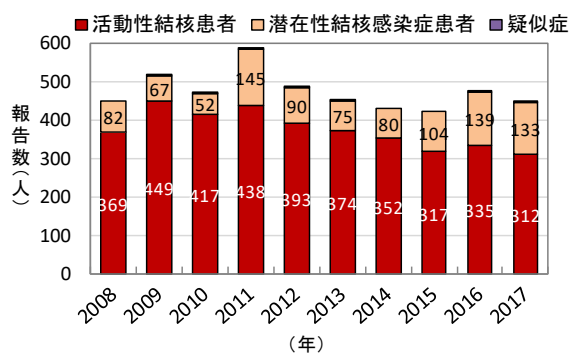
a. 結核

患者情報

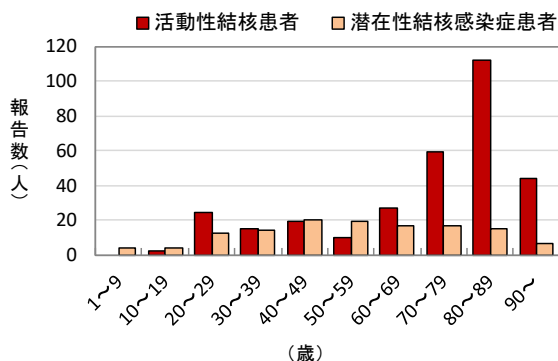
2017年の患者報告数は448例で、患者（活動性結核患者）が312例（感染症死亡者の死体及び感染症死亡疑い者の死体を各1例含む。）、無症状病原体保有者（潜在性結核感染症患者）が133例、疑似症が3例であった。活動性結核患者の報告数は前年（335例）より減少した。潜在性結核感染症患者の報告数は前年（139例）と同程度であった。活動性結核の病型は、肺結核（肺外結核の併発を含む。）が233例、肺外結核が79例であった。

活動性結核患者の年齢階級は高齢者が大半であり、70歳以上で全体の68.9%、80歳以上で全体の50.0%を占めた。一方、60歳未満では例年と同様に20歳代が多かった。

◆ 年別報告数



◆ 病型・年齢階級別報告数(2017年)



(3) 三類感染症

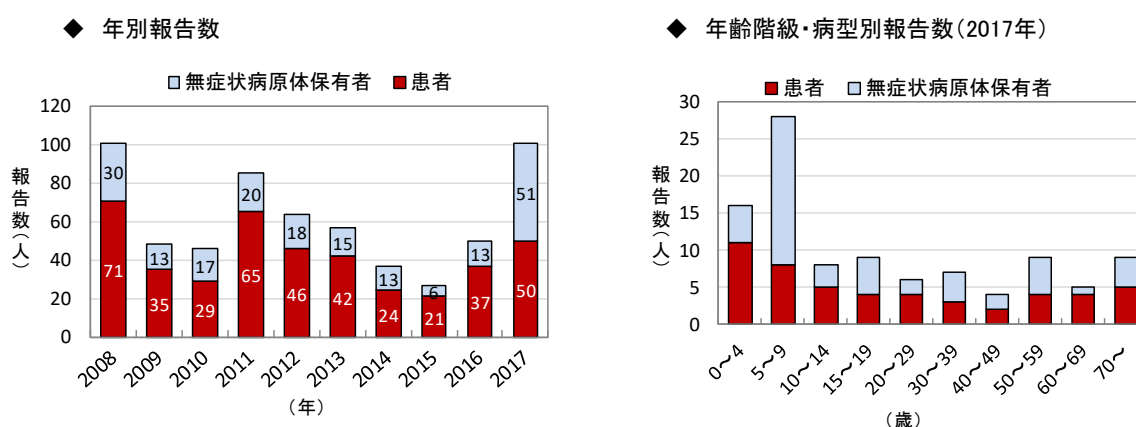
細菌性赤痢 2 例、腸管出血性大腸菌感染症 101 例、腸チフス 1 例の報告があった。

a. 腸管出血性大腸菌感染症

患者情報

2017 年の患者報告数は 101 例であり、過去 10 年間では 2008 年と並んで最も多かった。101 例中、患者が 50 例、無症状病原体保有者が 51 例であった。また、101 例中 35 例（患者 10 例、無症状病原体保有者 25 例）は、2017 年 8 月に県内保育所で発生した O103 による集団発生事例に関連する患者であった。

年齢階級別では、上記集団事例を反映し、5～9 歳が 28 例（うち保育所集団事例関連 24 例）、0～4 歳が 16 例（うち保育所集団事例関連 8 例）と多かった。



病原体情報

届出患者 97 例から分離された菌株の同定検査の結果は下表のとおりであった。

◆ 腸管出血性大腸菌感染症患者から分離された菌株の同定結果

菌種、血清型等	株数
<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT1&2	12 *
<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT1&2	5 *
<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT2	11
<i>Escherichia coli</i> O26:H11 VT1	25
<i>Escherichia coli</i> O103:H11 VT1	35 **
<i>Escherichia coli</i> O115:H10 VT1	5
<i>Escherichia coli</i> O121:H19 VT2	2
<i>Escherichia coli</i> O111:HUT VT1&2	1
<i>Escherichia coli</i> O145:H- VT2	1
<i>Escherichia coli</i> OUT:H11 VT1	1 **
<i>Escherichia coli</i> OUT:H45 VT2	1

*,** 各1例重複検出

b. 細菌性赤痢・腸チフス

患者情報

2017 年は細菌性赤痢 2 例、腸チフス 1 例の報告があった。細菌性赤痢は、国外感染例（推定感染地域：ミャンマー）と国内感染例が各 1 例、腸チフスは国外感染例（推定感染地域：インド）であった。

病原体情報

細菌性赤痢の届出患者 2 例から分離された菌株の同定検査の結果、2 例とも *Shigella sonnei* と確認された。また、腸チフスの届出患者 1 例から分離された菌株の同定検査の結果、*Salmonella Typhi* と確認された。

(4) 四類感染症

E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 3 例、オウム病 2 例、つつが虫病 9 例、デング熱 2 例、レジオネラ症 33 例の報告があった。

a. E 型肝炎・A 型肝炎

患者情報

2017 年の患者報告数は E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 3 例であった。前年（E 型肝炎 3 例、A 型肝炎 1 例）と同程度であった。E 型肝炎は、30 歳代女性で、国内感染例であった。A 型肝炎は、50 歳代男性、50 歳代女性、60 歳代女性が各 1 例で、3 例とも国内感染例であった。

病原体情報

E 型肝炎の届出患者 1 例の検体を検査した結果、E 型肝炎ウイルス不検出であった。A 型肝炎の届出患者 3 例の検体を検査した結果、3 例とも A 型肝炎ウイルスが検出され、遺伝子型は 3 例とも IA であった。

b. オウム病

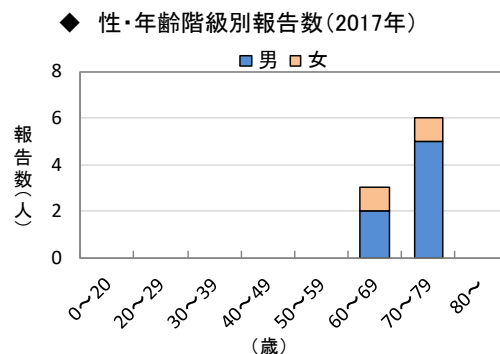
患者情報

2017 年の患者報告数は 2 例であった。1999 年 4 月に報告が始まって以降、県内では 2002 年に 3 例、2006 年に 2 例の報告があった。患者は 40 歳代男性と 60 歳代女性で、2 例ともインコからの感染と推定された。

c. つつが虫病

患者情報

2017 年の患者報告数は 9 例で、過去 10 年間では 2014 年と並んで最も少なかった。患者の報告月は、1 月が 1 例、11 月と 12 月が各 4 例で、例年と同様に 11～12 月に集中していた。男性 7 例、女性 2 例で、すべて 60 歳代と 70 歳代であった。



d. デング熱

患者情報

2017年の患者報告数は2例で、前年（3例）と同程度であった。

デング熱の病型は2例ともデング熱であり（デング出血熱なし）、推定感染地域はフィリピンとインドネシアが各1例であった。

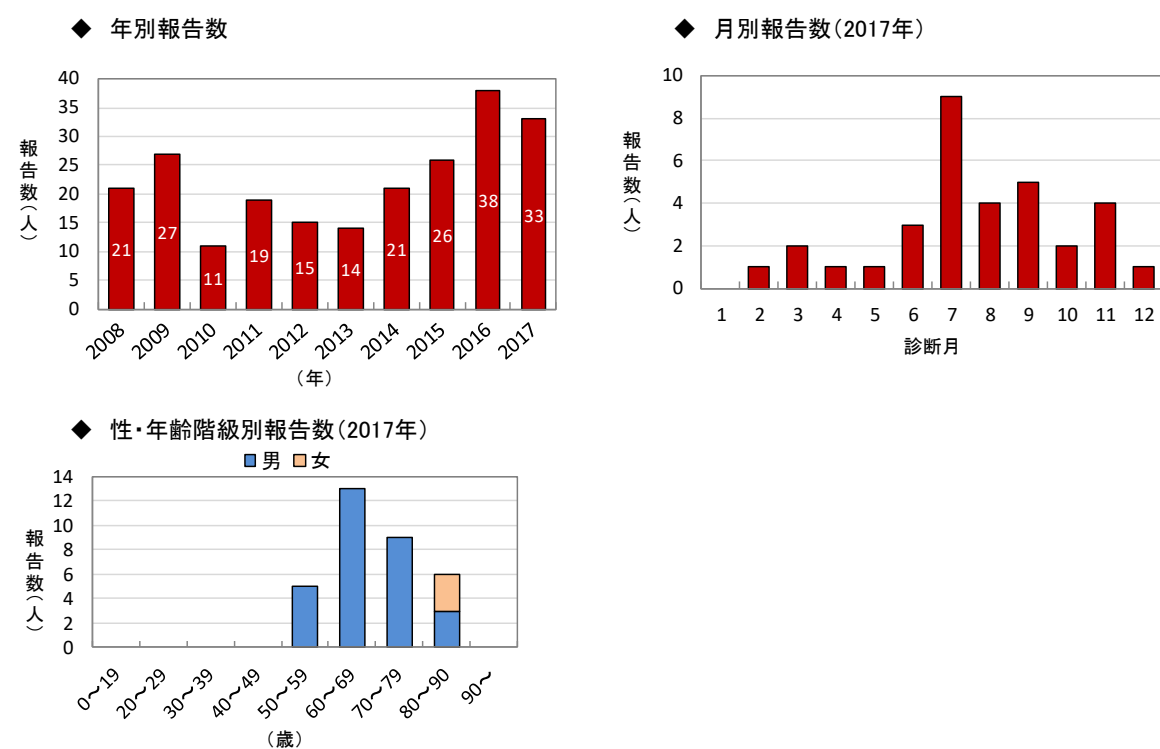
病原体情報

デング熱の届出患者2例の検体を検査した結果、2例ともデングウイルスが検出され、ウイルスの血清型は1型（推定感染地域：インドネシア）と3型（推定感染地域：フィリピン）であった。

e. レジオネラ症

患者情報

2017年の患者報告数は33例で、過去10年間では、2016年に次いで多かった。年間を通じて患者の報告があったが、近年の傾向と同様に7月に多かった。患者の病型は肺炎型が32例、ポンティアック熱型が1例であった。例年と同様に、男性が30例と全体の9割を占め、中でも60～70歳代の男性が多かった。女性は3例ですべて80歳代であった。



病原体情報

届出患者5例の検体（または分離菌株）の検査の結果、3例から *Legionella pneumophila* 血清群1が検出された。

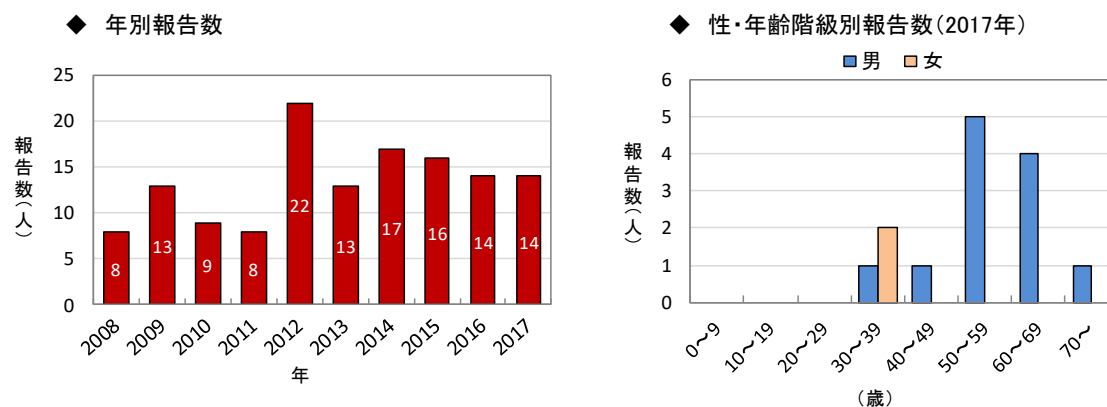
(5) 五類感染症

アメーバ赤痢 14 例、ウイルス性肝炎 4 例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 13 例、急性脳炎 6 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 4 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 7 例、後天性免疫不全症候群 12 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 8 例、侵襲性肺炎球菌感染症 33 例、水痘（入院例に限る）4 例、梅毒 69 例、播種性クリプトコックス症 1 例、破傷風 2 例、風しん 1 例の報告があった。

a. アメーバ赤痢

患者情報

2017 年の患者報告数は 14 例で、ここ数年と同程度であった。患者の病型は、腸管アメーバ症が 11 例、腸管外アメーバ症が 2 例、腸管及び腸管外アメーバ症が 1 例であった。男性 12 例、女性 2 例で、50～60 歳代の男性が多かった。推定感染地は、国内 11 例、国外 2 例、国内外不明 1 例であった。



b. カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

患者情報

2017 年の患者報告数は 13 例で、報告の始まった 2014 年以降最多であった（2014 年報告なし、2015 年 8 例、2016 年 9 例）。患者の年齢は、50 歳代 1 例、60 歳代 1 例、70 歳代 5 例、80 歳代 6 例であった。

病原体情報

届出患者 13 例の分離菌株の同定検査等の結果は下表のとおりであった。

◆ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症患者から分離された菌株の同定結果等

菌種名	カルバペネマーゼ産生	株数
<i>Enterobacter cloacae</i>	IMP-1型メタロ-β-ラクタマーゼ	1
<i>Enterobacter cloacae</i>	-	5
<i>Providencia rettgeri</i>	IMP-1型メタロ-β-ラクタマーゼ	1
<i>Enterobacter aerogenes</i>	-	3
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	-	2
<i>Serratia marcescens</i>	-	1

c. 急性脳炎

患者情報

2017 年の患者報告数は 6 例で、2003 年 11 月に全数報告が始まって以降最多であった。患者はすべて小児で、0 歳、1～4 歳、5～9 歳が各 2 例であった。報告月は、1 月、9 月、10 月が各 1 例、

11月、12月が各2例と、秋～冬が多かった。

病原体情報

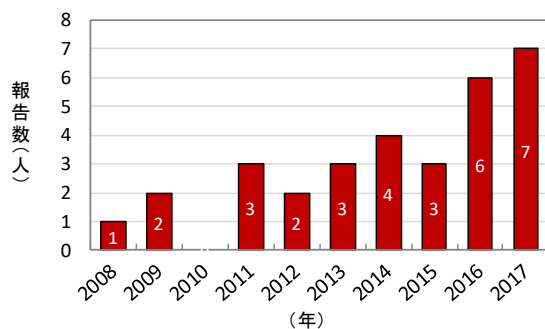
届出患者6例の検体の検査の結果、3例からウイルスが検出された。ヒトヘルペスウイルス6型および同7型（同時検出）が1例、RSウイルスが1例、ライノウイルスが1例であった。

d. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

患者情報

2017年の患者報告数は7例で、過去10年間で最多であった。7例中2例が届出時に死亡していた。患者の年齢は10歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代、80歳代が各1例であった。

◆ 年別報告数



病原体情報

届出患者6例の分離菌株の同定検査等の結果は下表のとおりであった。

◆ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者から分離された菌株の同定結果等

菌種名	株数
<i>Streptococcus pyogenes</i> T1型	2
<i>Streptococcus pyogenes</i> T4型	1
<i>Streptococcus pyogenes</i> T12型	1
<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264型	1
<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	1

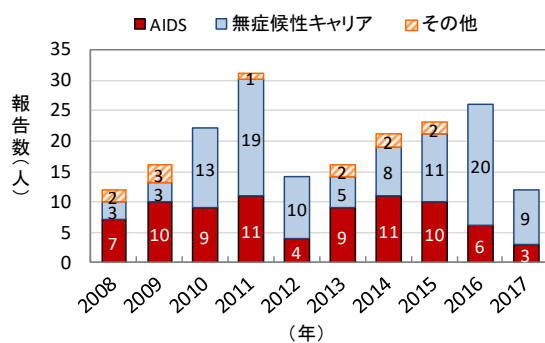
e. 後天性免疫不全症候群

患者情報

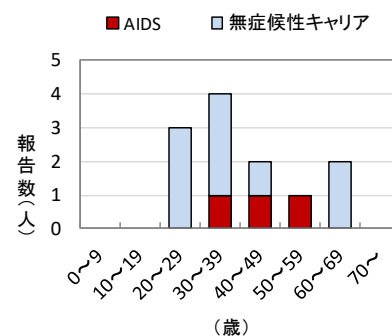
2017年の患者報告数は12例で、過去10年間で最も少なかった。

病型別では、AIDSが3例、無症候キャリアが9例であった。12例すべて男性で、AIDSは30歳代、40歳代、50歳代が各1例、無症候性キャリアは20歳代が3例、30歳代が3例、40歳代が1例、60歳代が2例であった。感染経路は、12例全て同性間性的接触によるものであった。

◆ 年別報告数



◆ 年齢階級・病型別報告数(2017年・男性)

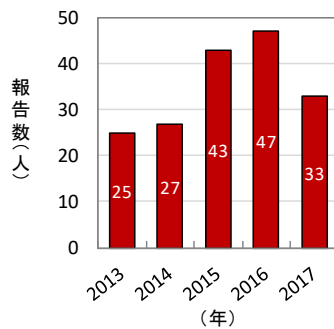


f. 侵襲性肺炎球菌感染症

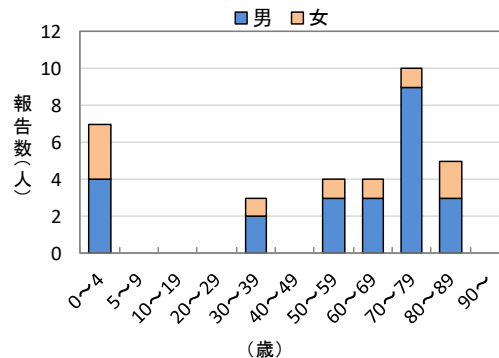
患者情報

2017年の患者報告数は33例で、前年（47例）より減少した。患者は男性が24例（72.7%）と多く、年齢は70歳以上が全体の45.5%、5歳未満が21.2%を占めた。5歳未満の7例のワクチン接種歴は、4回接種が4例、3回接種が3例であった。65歳以上の18例のワクチン接種歴は、1回接種が1例、接種歴なしが7例、不明が10例であった。

◆ 年別報告数



◆ 性・年齢階級別報告数(2017年)



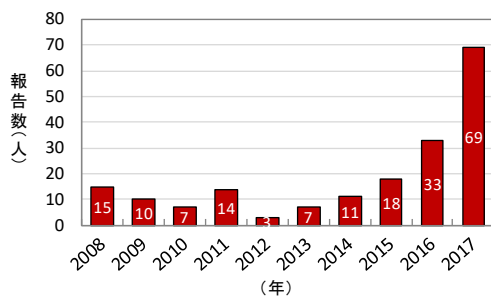
g. 梅毒

患者情報

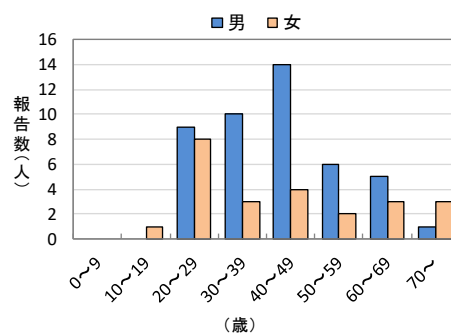
2017年の患者報告数は69例で、報告の始まった1999年以降最多であった。

男性45例、女性24例で、前年同様に男性では20~40歳代、女性では20歳代が多かった。病型別では、男女ともに早期顕症梅毒（Ⅰ期およびⅡ期）が多かった（男性の75.6%、女性の58.3%）。感染経路も前年同様に、男女とも異性間性的接触によるものが多かった。

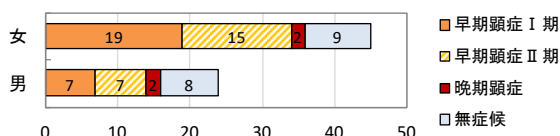
◆ 年別報告数



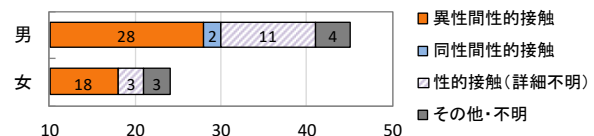
◆ 性・年齢階級別報告数(2017年)



◆ 性・病型別報告数(2017年)



◆ 性・感染経路別報告数(2017年)



h. 麻しん・風しん

患者情報

2017年は麻しんの報告はなかった。風しんは1例報告があり、10歳代男性、検査診断例、予防

接種歴は1回であった。

病原体情報

風しんの届出患者1例の検体を検査した結果、風しんウイルスは不検出であった。

2 定点把握対象の五類感染症

(1) インフルエンザ定点

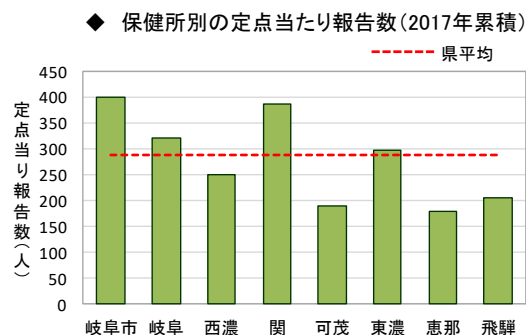
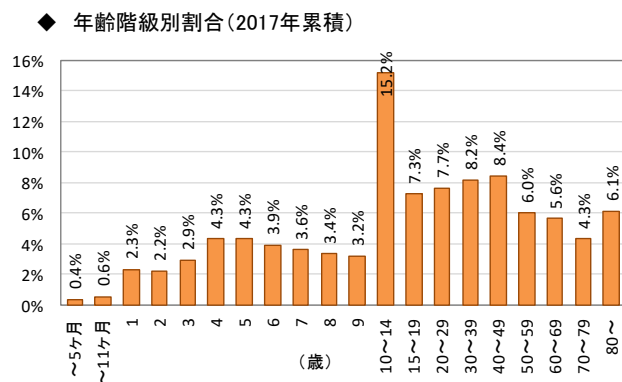
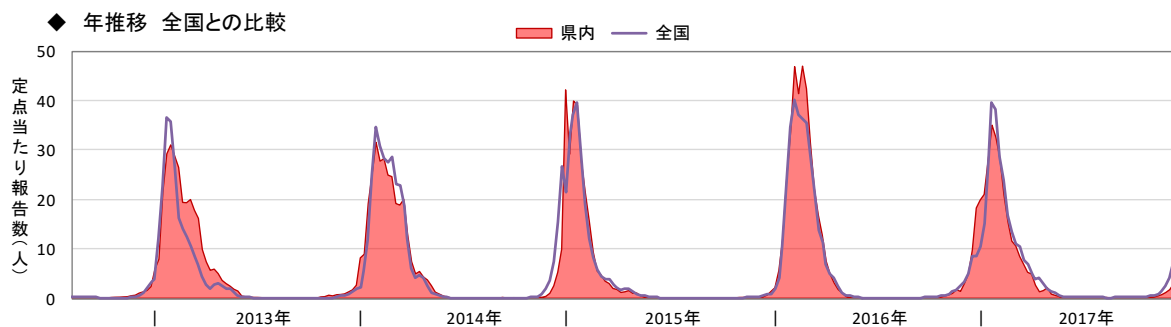
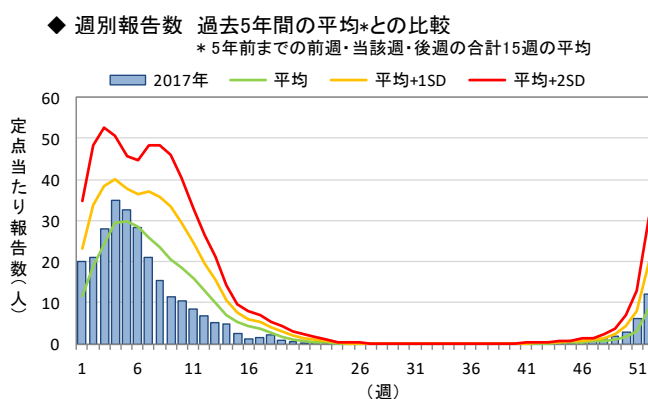
a. インフルエンザ

患者情報

2017年の累積患者報告数は24,854人（定点287.66人）で、前年（定点当たり400.32人）と比べて減少した。

2016/17シーズンは、2016年第46週（11/14～20）に定点当たり1.01人となり、例年より早い流行入りとなった。第49週（12/5～11）以降患者報告数は急増し、2017年第4週（1/23～29）に定点当たり35.01人とピークとなり、その後は減少に転じた。

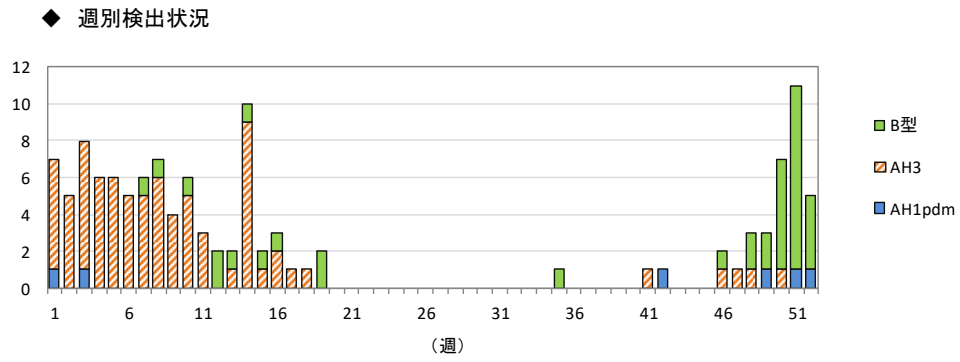
2017/18シーズンは、2017年第48週（11/27～12/3）に定点当たり1.17人となり流行入りした。年齢階級別では0～4歳が全体の12.8%、5～9歳が18.4%、10～14歳が15.2%を占めた。



病原体情報

インフルエンザ患者124例の検体を検査した結果、121例からインフルエンザウイルスが検出された。型・亜型の内訳は、AH1pdm09が6例、AH3が78例、B型が37例であった。2016/17

シーズンは AH3 が主流であり、2017/18 シーズン初めは B 型が主流であった。



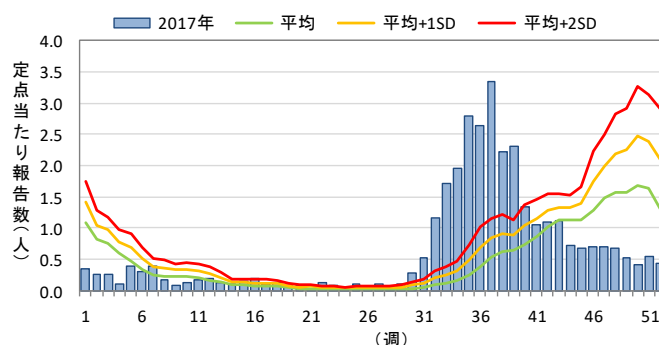
(2) 小児科定点

a. RSウイルス感染症

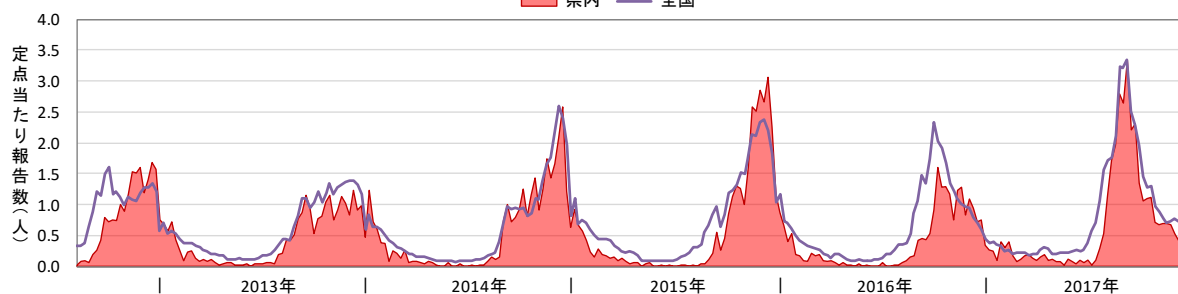
患者情報

2017年の累積患者報告数は1,746人（定点当たり33.32人）で、前年（定点当たり20.29人）と比べて増加した。例年より早く第30週（7/24～30）から患者報告数が増加し始め、第37週（9/11～17）に定点当たり3.34人とピークとなった。ピークの時期は昨年より4週早く、ピークの高さは直近5シーズンで最も高かった。

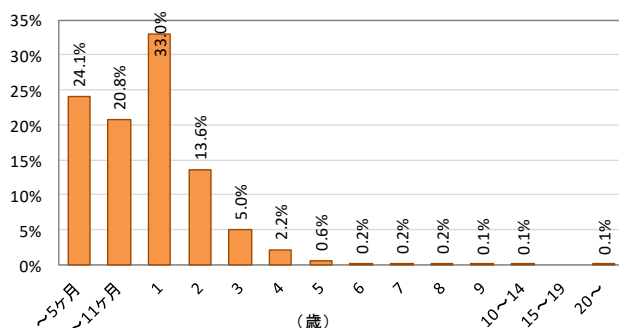
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



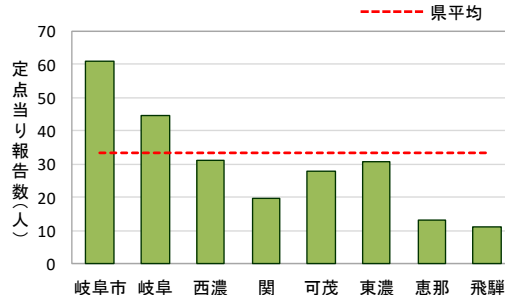
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



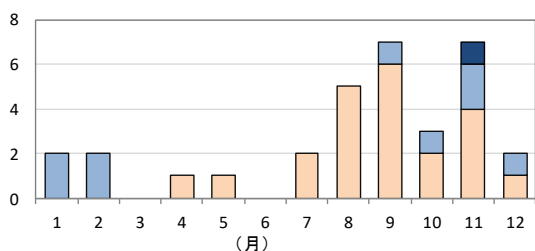
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



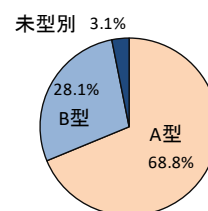
病原体情報

RSウイルス患者34例の検体を検査した結果、32例からRSウイルスが検出された。ウイルスの血清型別はA型が22例、B型が9例、未型別が1例であった。

◆ 月別検出状況



◆ 2017年累積 (n=32)

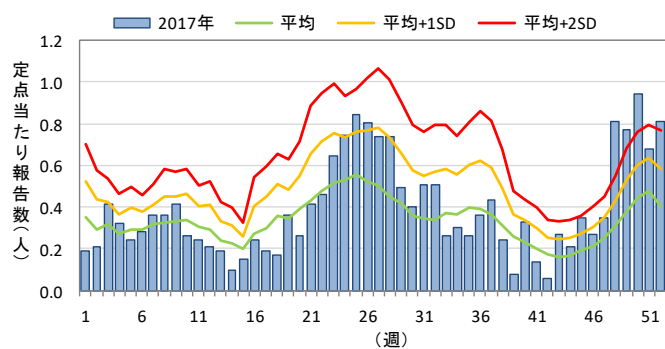


b. 咽頭結膜熱

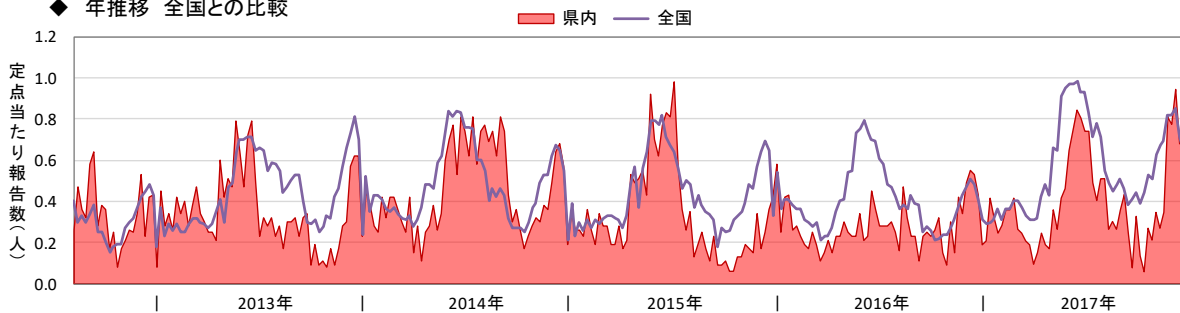
患者情報

2017年の累積患者報告数は1,064人（定点当たり20.31人）で、前年（定点当たり14.56人）と比べて増加した。夏、冬ともに過去5年の平均を上回る流行となった。夏のピークは第25週（6/19～25）、冬のピークは第50週（12/11～17）で、特に冬のピークが高かった。年齢階級別では例年と同様に1～4歳が多く、1～4歳で全体の68.7%を占めた。

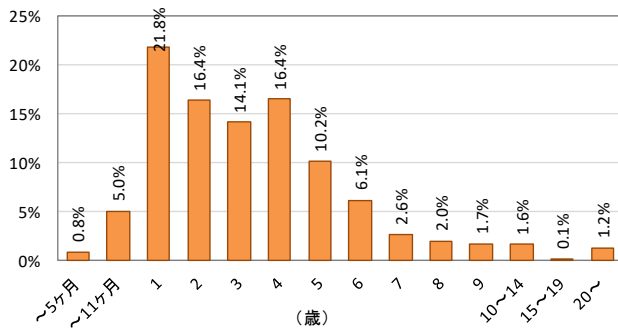
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



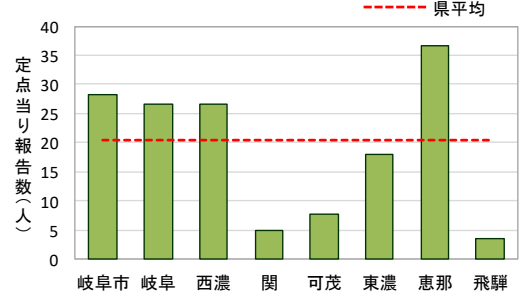
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



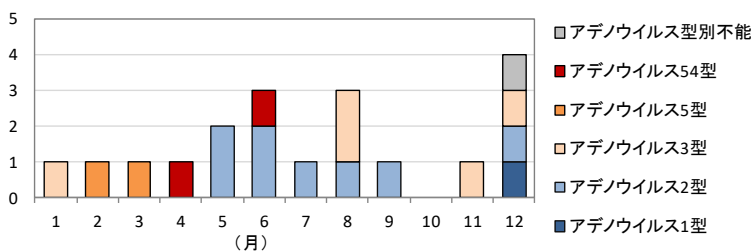
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



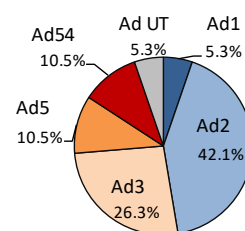
病原体情報

咽頭結膜熱患者20例の検体を検査した結果、19例からアデノウイルスが検出された。型別の内訳は、1型が1例、2型が8例、3型が5例、5型が2例、54型が2例、型別不能が1例であった。初夏から秋にかけては2型の検出が多かった。

◆ 月別検出状況



◆ 2017年累積 (n=19)

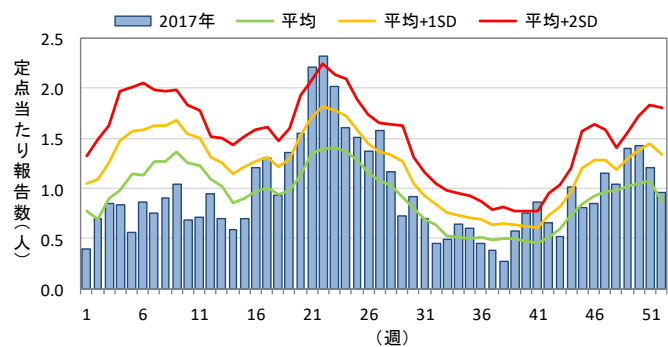


c. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

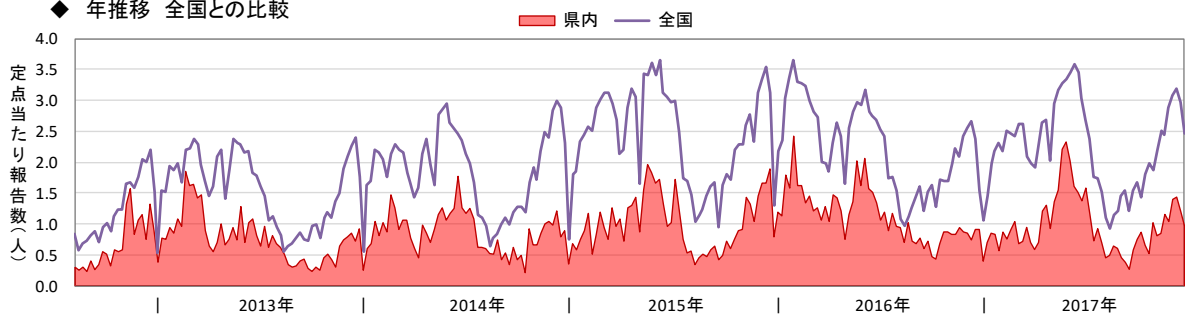
患者情報

2017年の累積患者報告数は2,625人（定点当たり50.10人）で、前年（定点当たり59.09人）と比べて減少した。初夏に比較的大きな流行、冬に小さな流行がみられた。初夏のピークは第22週（5/29～6/4）、冬のピークは第50週（12/11～17）であった。年齢階級別では、例年と同様に、5歳をピークに幅広い年齢層の患者が報告された。

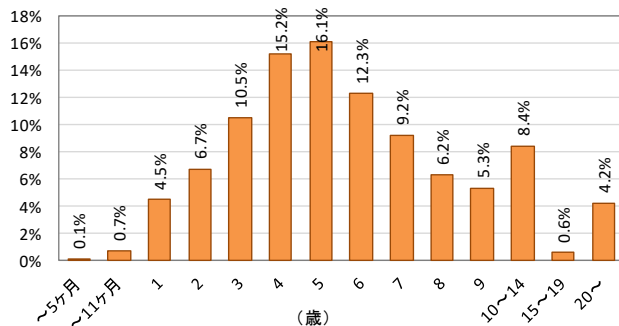
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



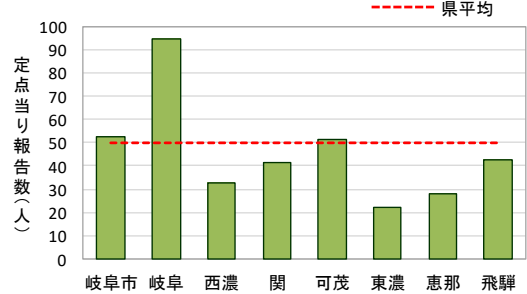
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



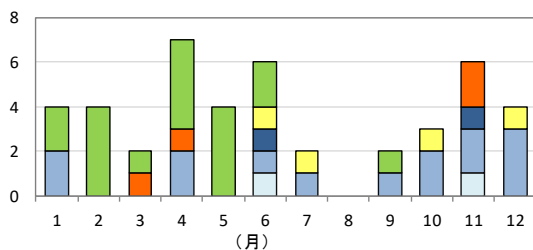
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



病原体情報

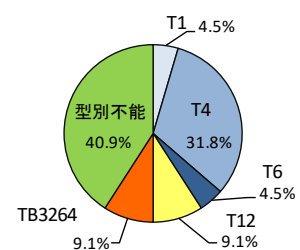
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者44例の検体を検査した結果、42例から *Streptococcus pyogenes* がされ、T型別はT1が2例、T4が14例、T6が2例、T12が4例、TB3264が4例、T型別不能が18例であった（重複検出2例を含む）。年の前半は型別不能が多かった。

◆ 月別検出状況



重複検出2件を含む(T1とT6:1件、T4とT型別不能:1件)

◆ 2017年累積 (n=42)



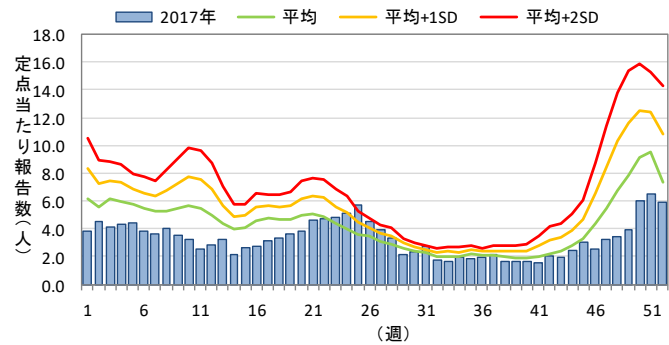
d. 感染性胃腸炎

患者情報

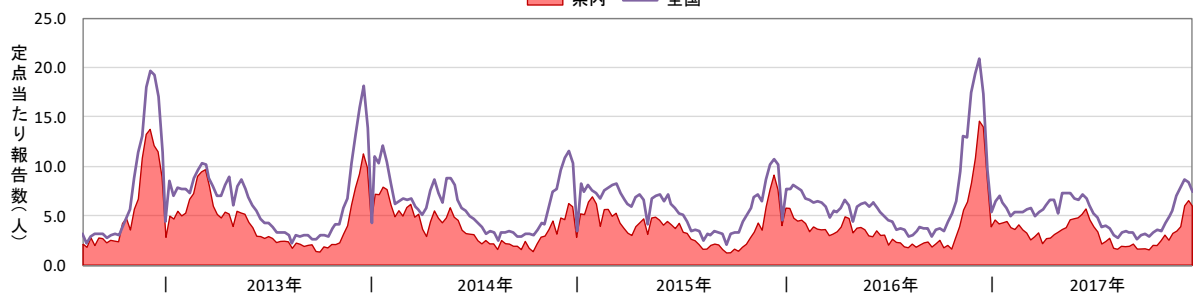
2017年の累積患者報告数は9,020人（定点当たり172.14人）で、前年（定点当たり210.58人）より減少した。初夏の第21～27週（5/22～7/9）と、冬の第50～52週（12/11～12/31）に患者報告数が増加したが、冬の流行は例年より小さかった。

◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較

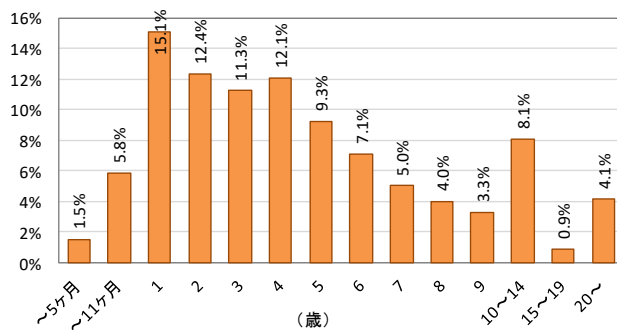
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



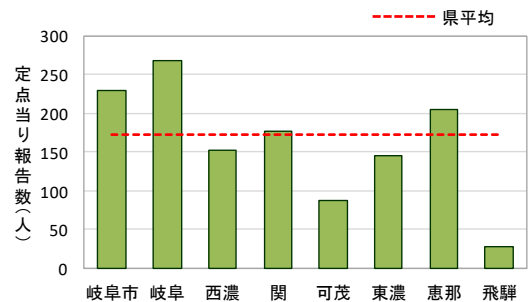
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



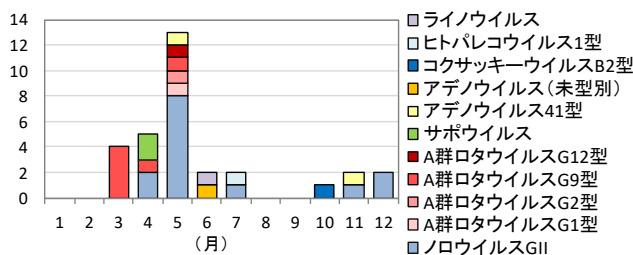
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



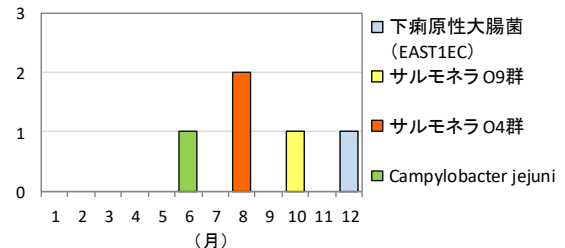
病原体情報

感染性胃腸炎患者48例の検体を検査した結果、31例からウイルス、5例から細菌が検出された。ウイルスでは、3～5月にA群ロタウイルス（計9例）、4～5月、11～12月を中心にノロウイルスGII（14例）が検出された他、サポウイルス（2例）、アデノウイルス（計3例）、ヒトパレコウイルス1型（1例）などが検出された。細菌では、サルモネラO4群が2例、同O9群が1例、*Campylobacter jejuni*が1例、下痢原性大腸菌（EAST1EC）が1例検出された。

◆ 月別検出状況(ウイルス)



◆ 月別検出状況(細菌)

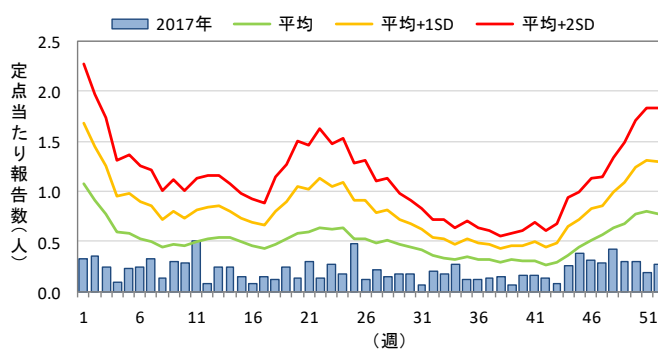


e. 水痘

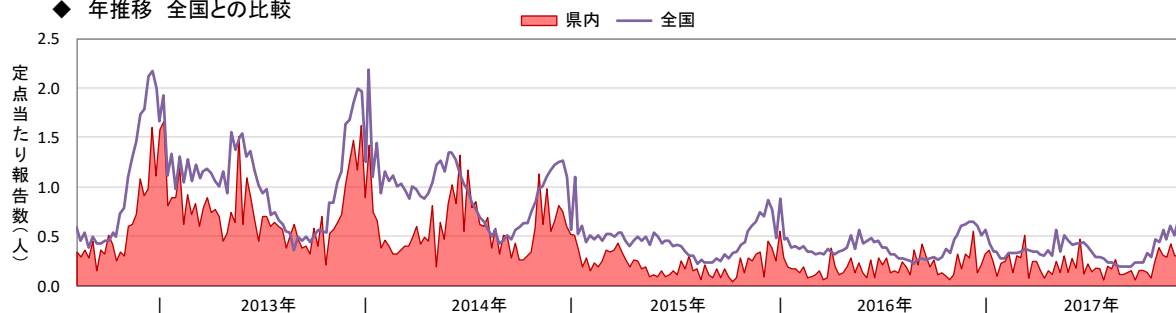
患者情報

2017年の累積患者報告数は584人(定点当たり11.15人)で、前年(定点当たり10.39人)と比べてわずかに増加した。年間を通じて低いレベルで推移した。年齢階級別では、5歳(17.0%)～6歳(14.9%)にピークがみられた。

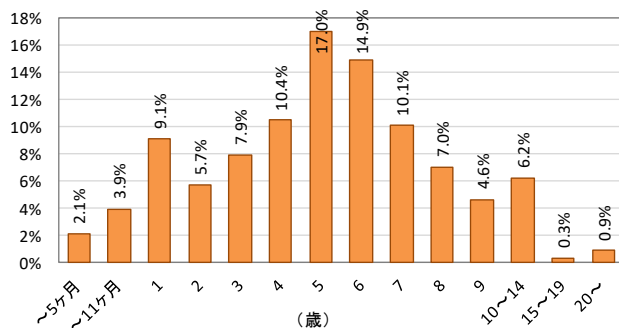
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



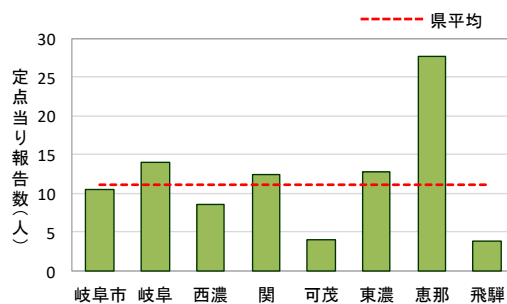
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



病原体情報

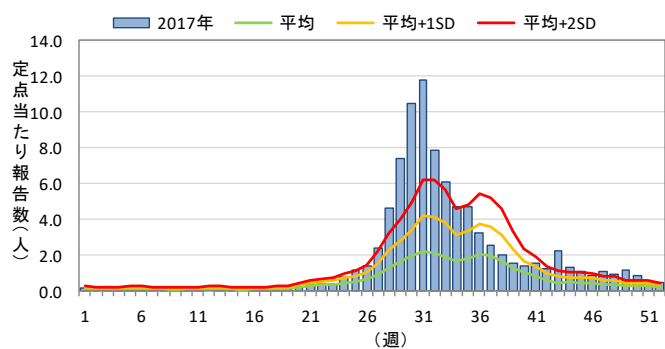
水痘患者5例の検体を検査した結果、5例すべてから水痘・帯状疱疹ウイルスが検出された。1例はライノウイルスが重複検出された。

f. 手足口病

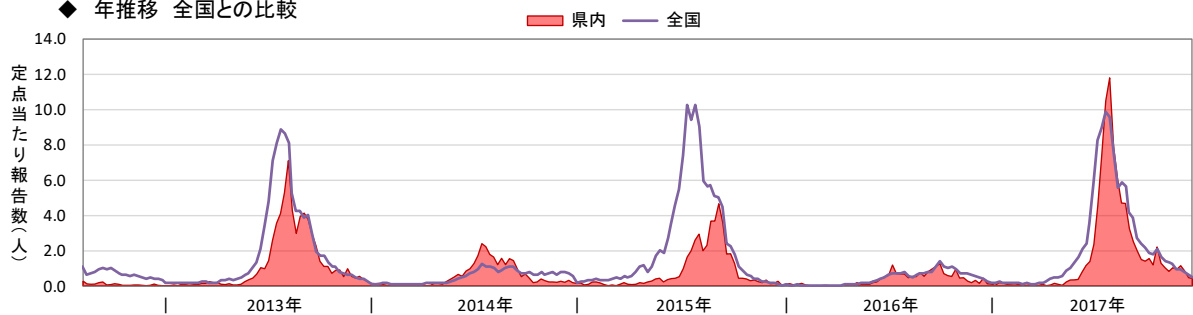
患者情報

2017年の累積患者報告数は4,636人（定点当たり88.47人）で、前年（定点当たり17.81人）と比べて大きく増加した。第24週（6/12～18）から患者報告数が増加し始め、第31週（7/31～8/6）にピークとなった。ピーク後は減少に転じたが、秋から年末にかけても患者の報告がみられた。ピークの高さは直近5年で最も高かった。

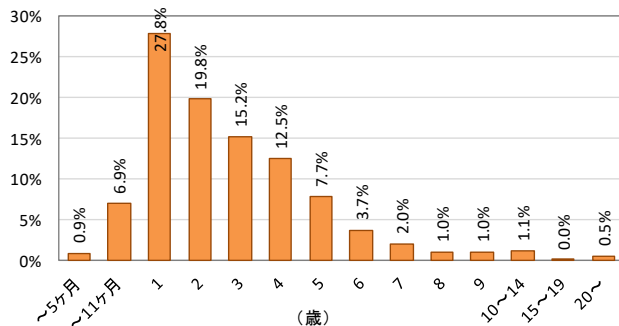
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
*5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



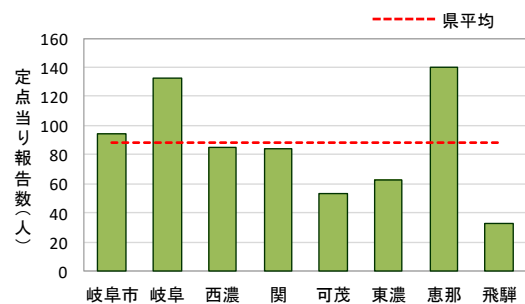
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



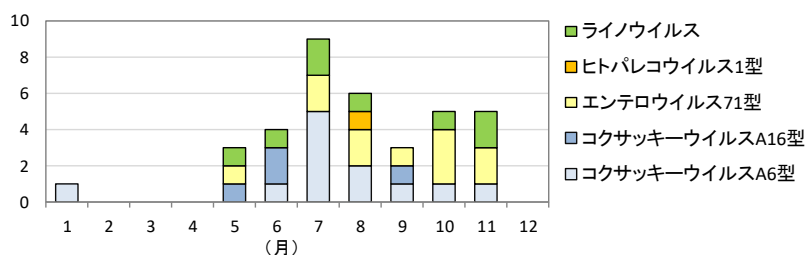
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



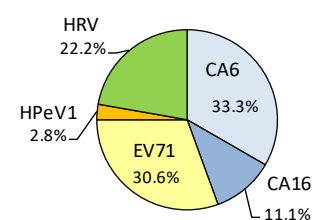
病原体情報

手足口病患者31例の検体を検査した結果、27例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA6型が12例、同A16型が4例、エンテロウイルス71型が11例、ヒトパレコウイルス1型が1例、ライノウイルスが8例であった（重複検出8例を含む）。

◆ 月別検出状況



◆ 2017年累積(n=27)



重複検出8件を含む(CA16とHRV:2件、EV71とHRV:4件、CA6とHRV:1件、CA6とHPeV1:1件)

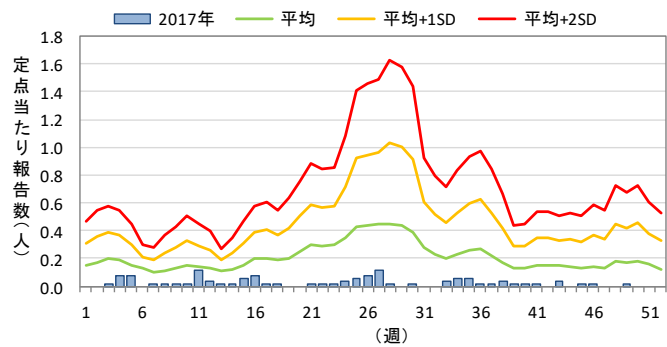
g. 伝染性紅斑

患者情報

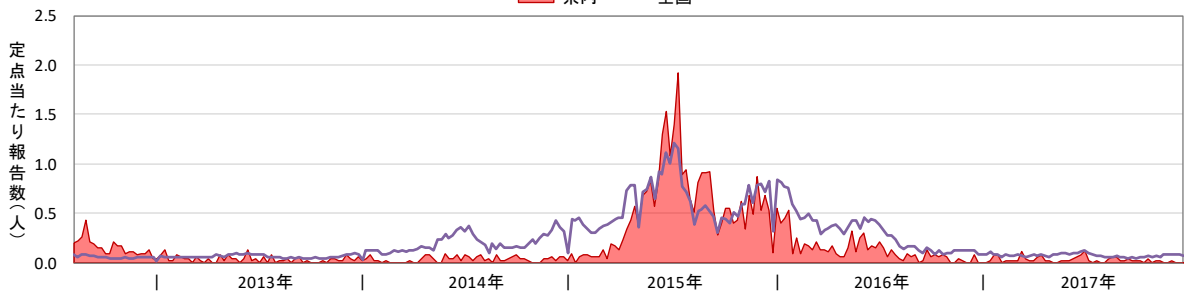
2017年の累積患者報告数は72人（定点当たり1.37人）で、前年（定点当たり6.91人）と比べて減少した。年間を通じて低いレベルで推移した。年齢階級別では、5歳（26.4%）が最も多かった。

◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較

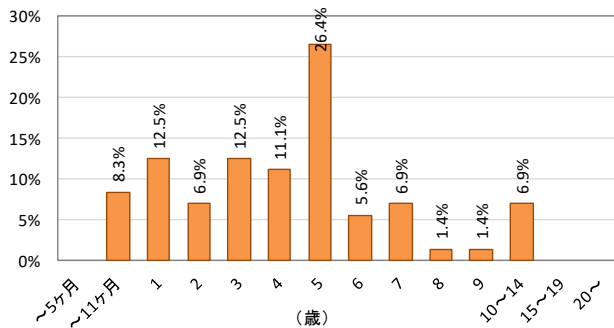
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



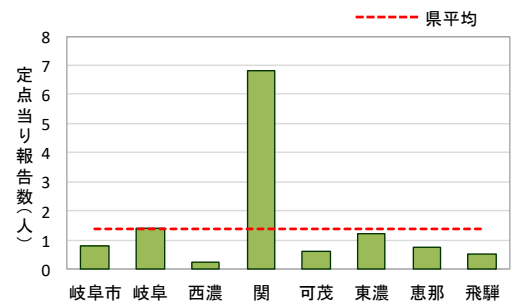
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



病原体情報

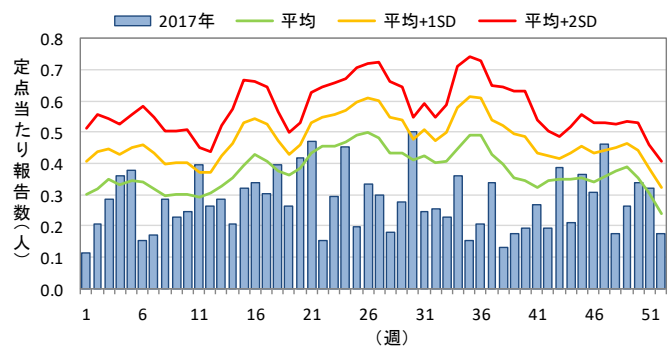
伝染性紅斑患者1症例の検体を検査したが、ウイルス不検出であった。

h. 突発性発しん

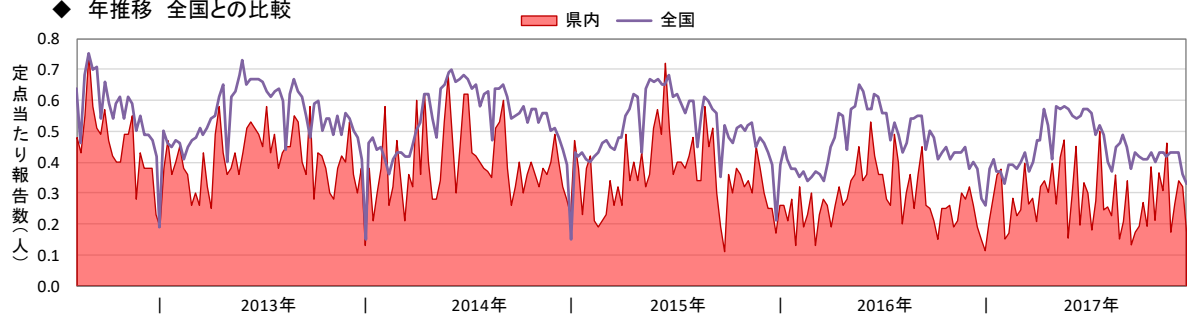
患者情報

2017年の累積患者報告数は760人(定点当たり14.50人)で、前年(定点当たり14.81人)と同程度であった。年間を通じて過去5年間の平均より低いレベルで推移した。年齢階級別では、例年と同様に6ヵ月～1歳が全体の87.9%と大部分を占めた。

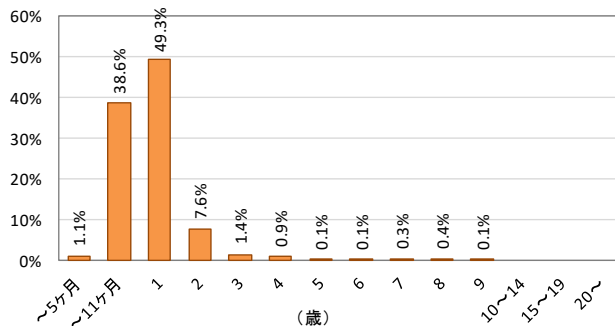
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



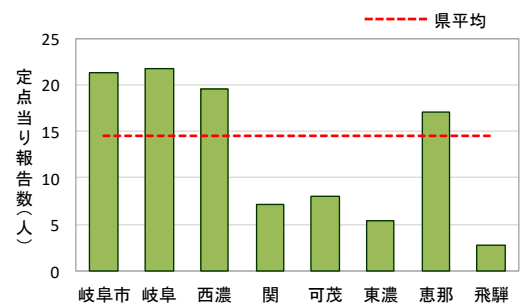
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



病原体情報

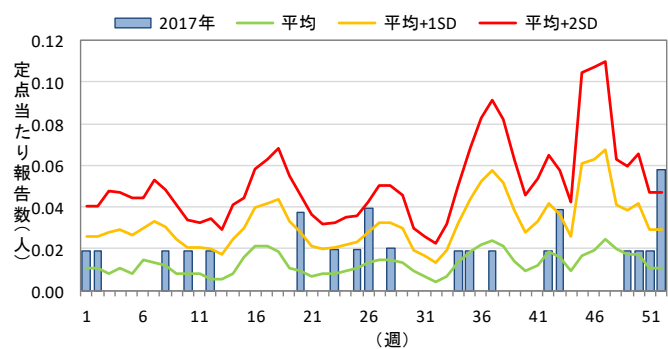
突発性発しん患者1例の検体を検査した結果、ヒトヘルペスウイルス6型が検出された。

i. 百日咳

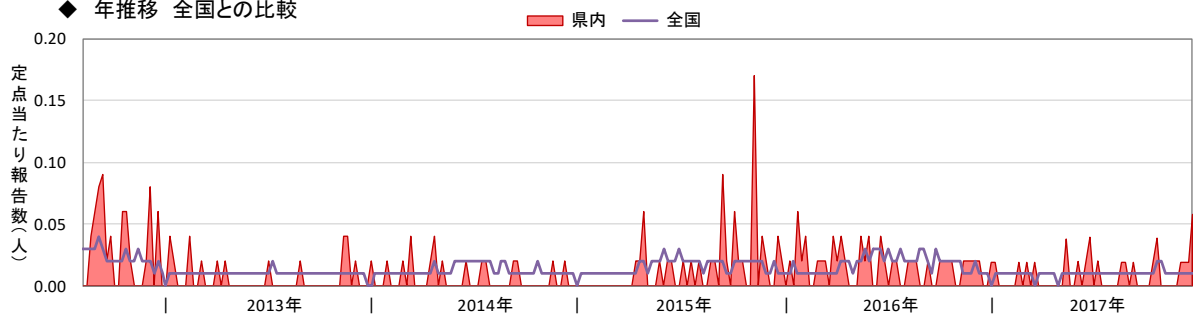
患者情報

2017年の累積患者報告数は24人（定点当たり0.46人）で、前年（定点当たり0.74人）より減少した。患者の報告は年間を通じて散発的であった。

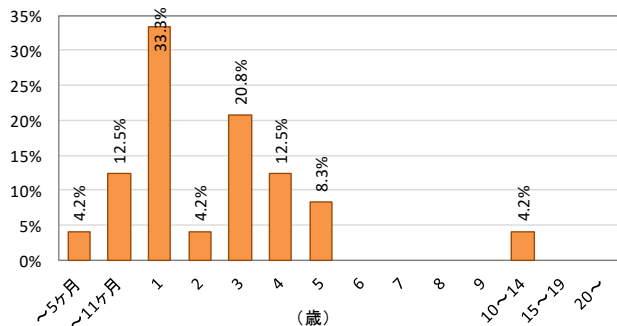
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



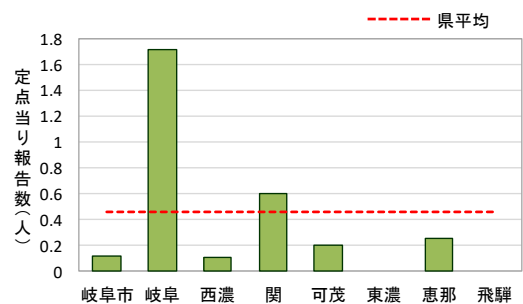
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



病原体情報

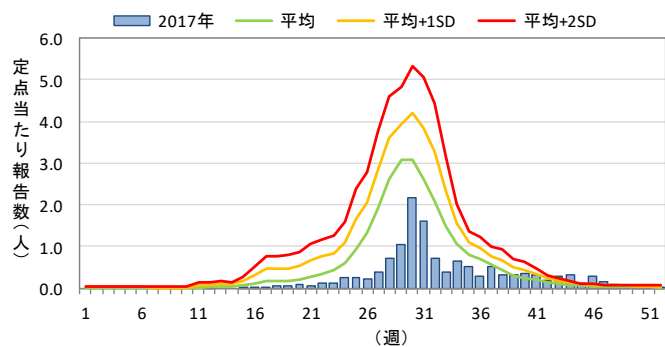
百日咳患者 3 例の検体を検査した結果、1 例から百日咳菌が検出された。また、1 例からは *Mycoplasma pneumoniae* が検出された。

j. ヘルパンギーナ

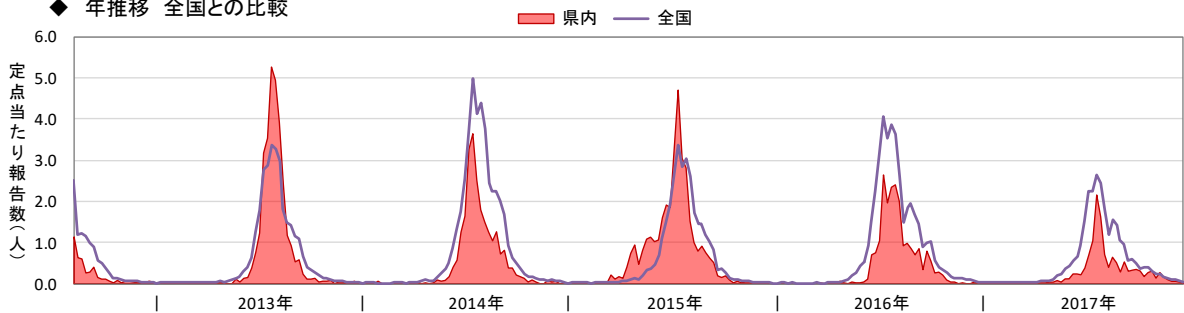
患者情報

2017年の累積患者報告数は677人(定点当たり12.92人)で、前年(定点当たり21.17人)と比べて減少した。第28週(7/10~16)から患者報告数の目立った増加がみられ、第30週(7/24~30)にピークとなったが、ピークの高さは昨年より低く、直近5年で最も小さい流行であった。年齢階級別では、例年と同様に1歳(29.8%)、2歳(19.9%)、3歳(14.5%)の順に多かった。

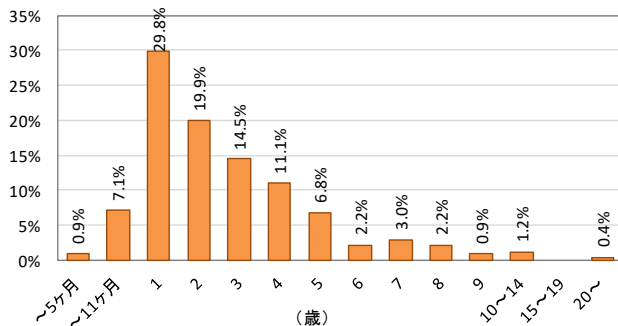
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



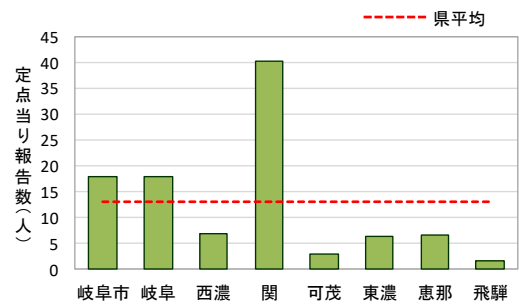
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



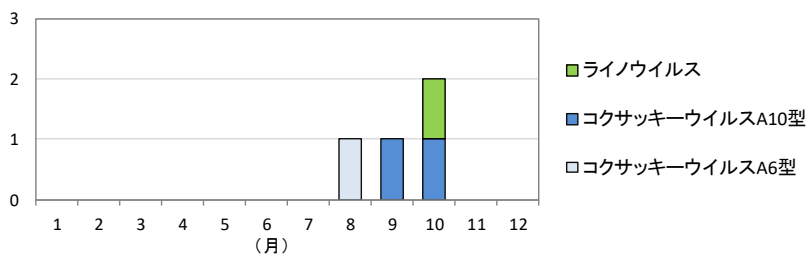
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



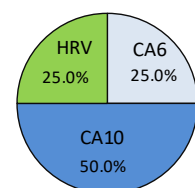
病原体情報

ヘルパンギーナ患者5例の検体を検査した結果、3例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA6型が1例、同A10型が2例、ライノウイルスが1例であった(重複検出1例を含む)。

◆ 月別検出状況



◆ 2017年累積 (n=3)



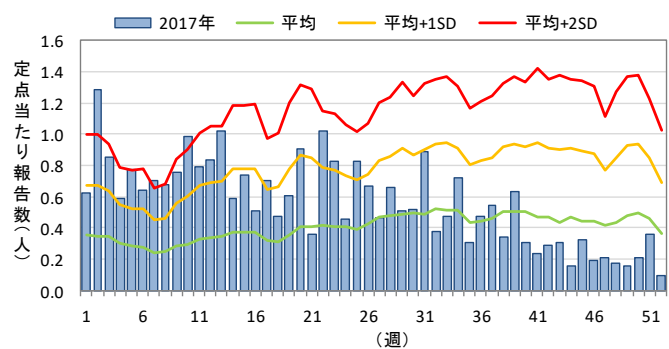
重複検出1件を含む(CA10とHRV)

k. 流行性耳下腺炎

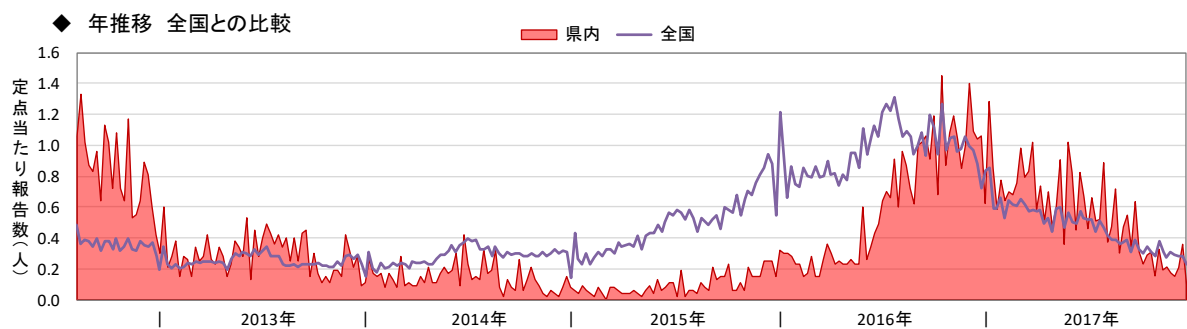
患者情報

2017年の累積患者報告数は1,525人（定点当たり29.10人）で、前年（定点当たり31.83人）と比べてわずかに減少した。2016年から流行が続いており、患者報告数は1年をかけて緩やかに減少した。年齢階級別では、前年と同様に、5歳をピークに幅広い年齢層の患者が報告された。

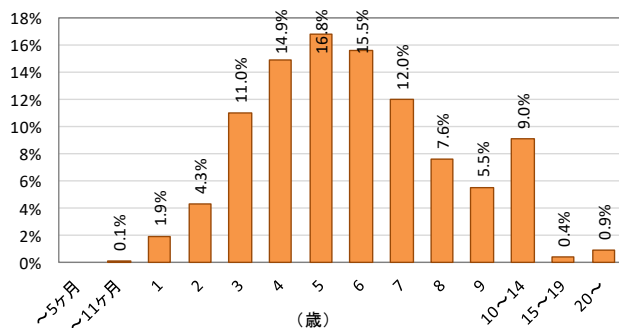
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



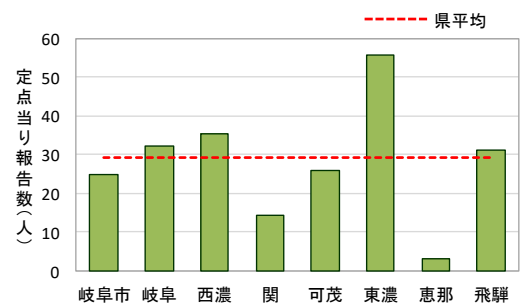
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



病原体情報

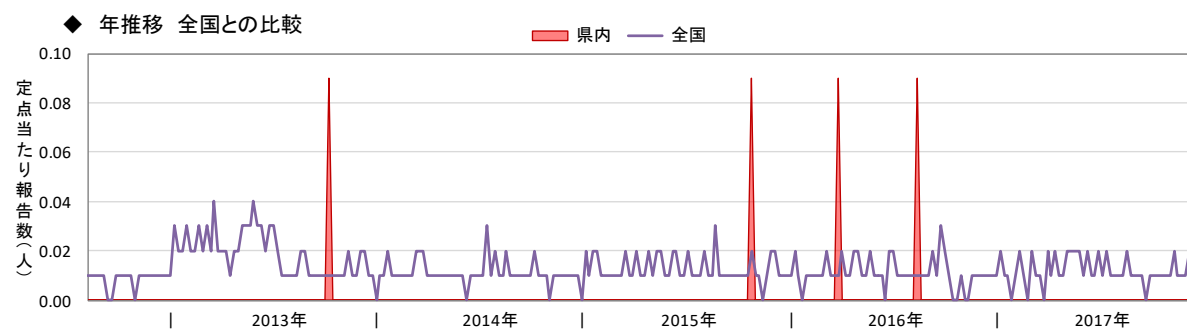
流行性耳下腺炎患者26例の検体を検査した結果、23例からムンプスウイルスが検出され、うち1例はアデノウイルス1型が重複検出された。また、ムンプスウイルス不検出の1例からライノウイルスが検出された。

(3)眼科定点

a. 急性出血性結膜炎

患者情報

2017年、患者の報告はなかった。直近5年では、2013年、2015年に各1人、2016年に2人報告があったのみで、流行はみられていない。

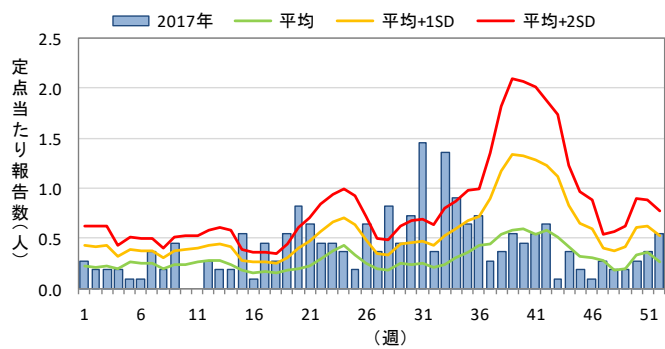


b. 流行性角結膜炎

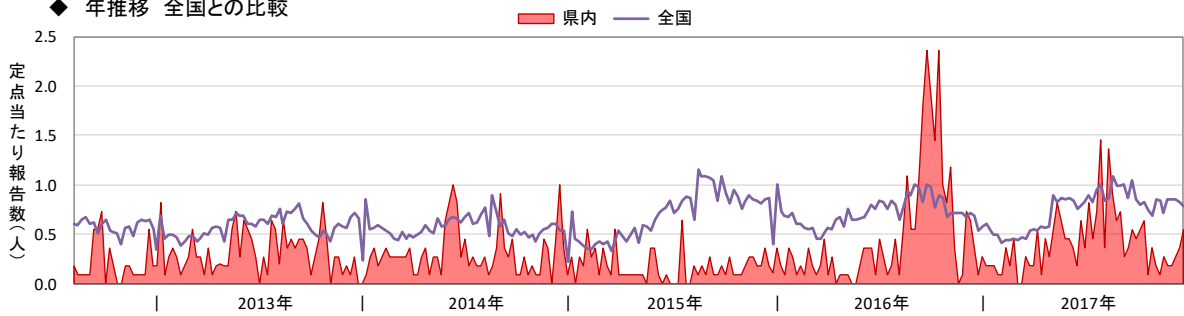
患者情報

2017年の累積患者報告数は234人(定点当たり21.27人)で、前年(定点当たり25.45人)と比べて減少した。年間を通じて患者の報告があったが、特に第31~34週(7/31~8/27)に報告数が増加した。年齢階級別では、前年と同様に、10歳未満の小児(20.9%)と30歳代(24.8%)が多かった。

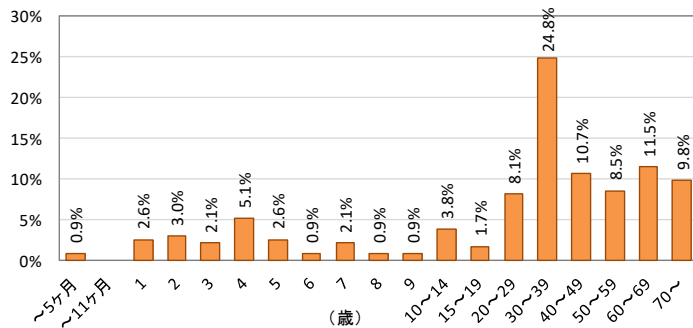
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



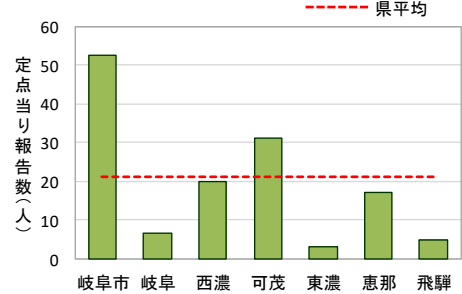
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



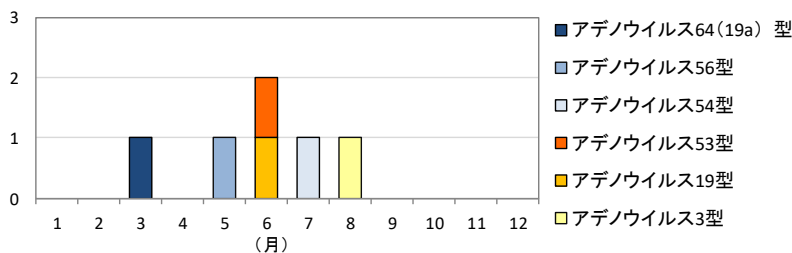
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



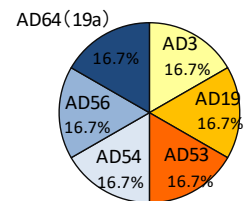
病原体情報

流行性角結膜炎患者6例の検体を検査した結果、6例すべてからアデノウイルスが検出された。型別の内訳は、3型、19型、53型、54型、56型、64(19a)型が各1例であった。

◆ 月別検出状況



◆ 2017年累積(n=6)



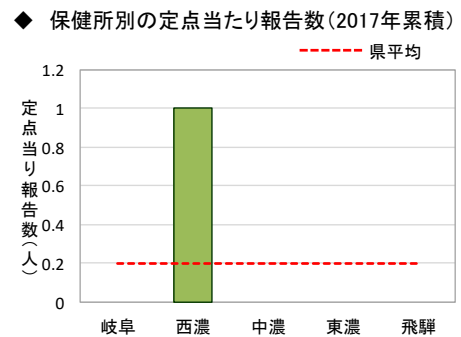
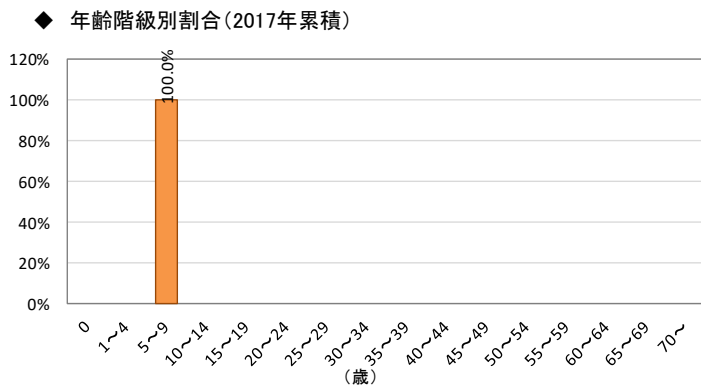
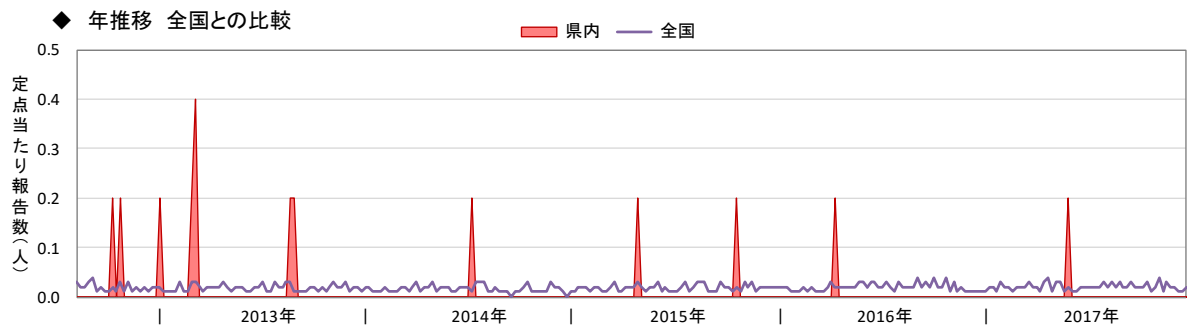
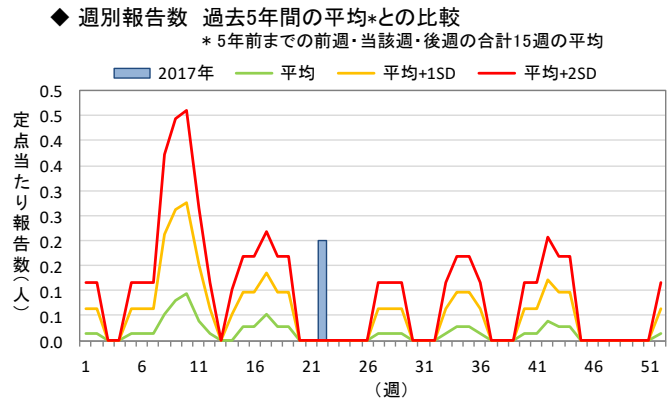
(4) 基幹定点

a. 細菌性髄膜炎（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。）

患者情報

2017年の累積患者報告数は1人（定点当たり0.20人）で、前年（定点当たり0.20人）と同程度であった。患者の年齢階級は5～9歳であった。

2013年4月1日に髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因とする髄膜炎が全数把握対象の五類感染症に指定され本疾患の対象外となって以降、本疾患の患者報告数は減少した。



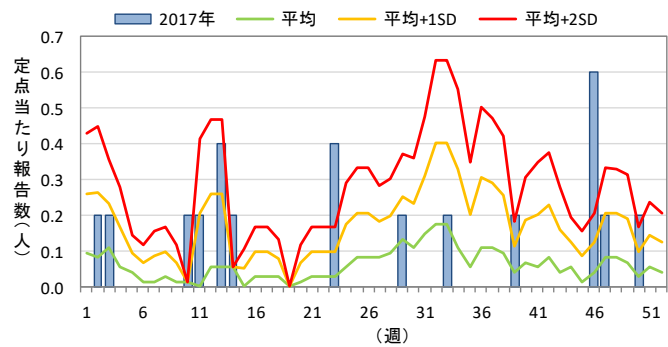
b. 無菌性髄膜炎

患者情報

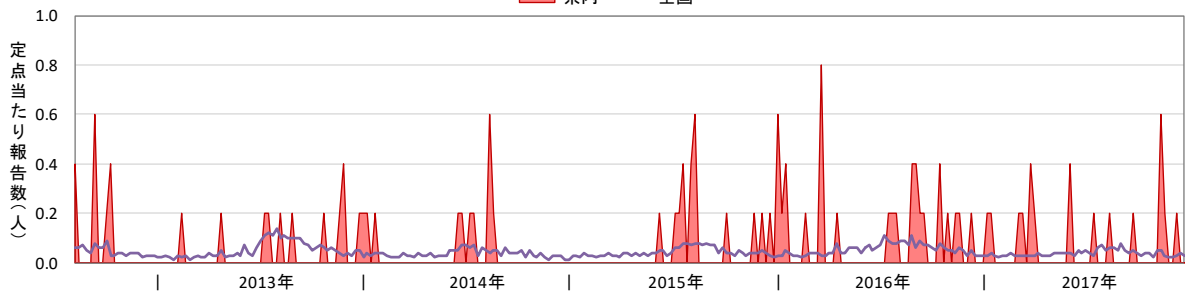
2017年の累積患者報告数は17人（定点当たり3.40人）で、前年（定点当たり5.40人）より減少した。年間を通じて散発的な患者報告があった。年齢階級別ではすべて15歳未満で、5～9歳が82.4%であった。

◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較

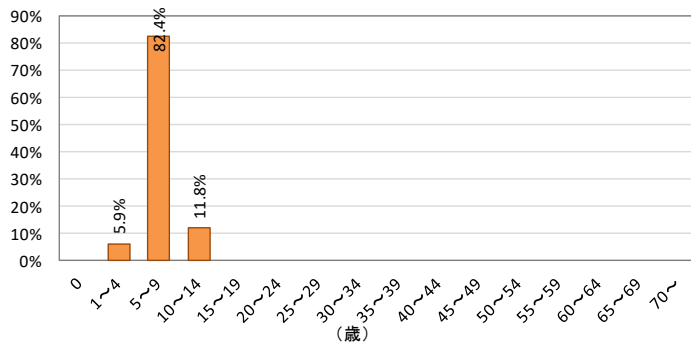
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



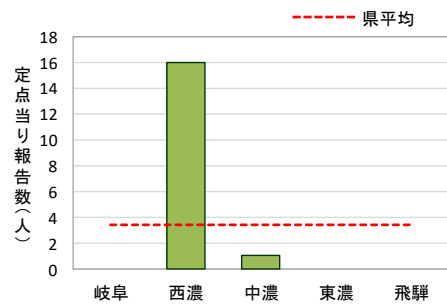
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合 (2017年累積)



◆ 保健所別の定点当たり報告数 (2017年累積)



病原体情報

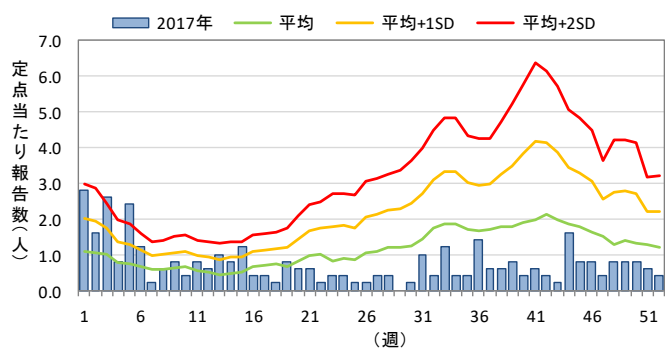
無菌性髄膜炎患者8例の検体を検査した結果、4例からウイルスが検出された。その内訳は、ムンプスウイルスが1例、ライノウイルスが3例であった。

c. マイコプラズマ肺炎

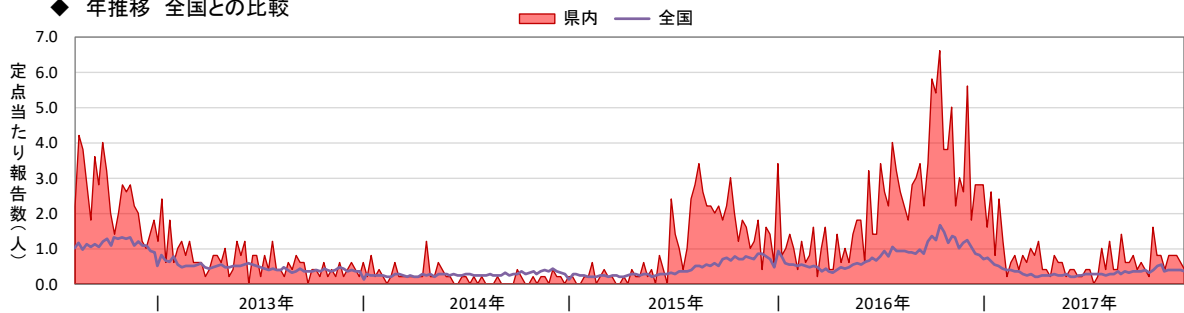
患者情報

2017年の累積患者報告数は193人(定点当たり38.60人)で、前年(定点当たり119.00人)と比べて大きく減少した。第1～5週(1/2～2/5)は前年に引き続き報告数がやや多かったが、それ以降は比較的低いレベルで推移した。年齢階級別では前年と同様に15歳未満が多く、5～9歳が全体の43.0%、10～14歳が32.1%を占めた。

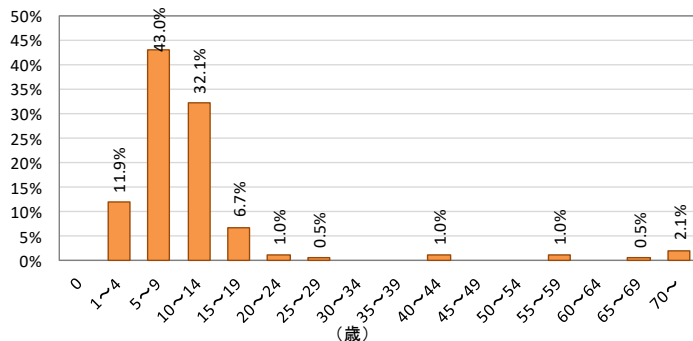
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



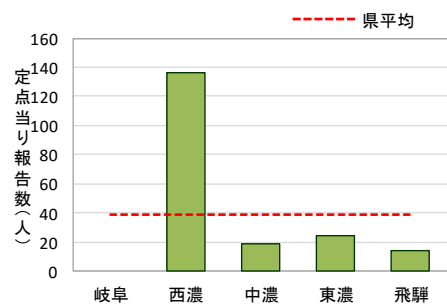
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



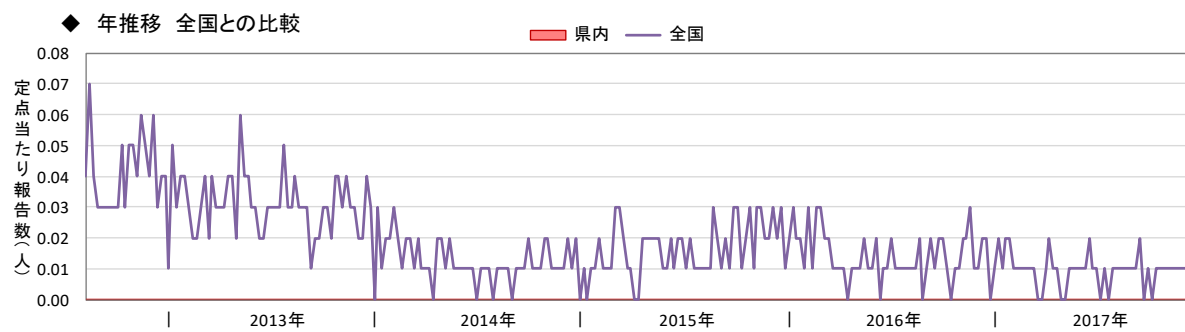
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



d. クラミジア肺炎（オウム病を除く。）

患者情報

2017年、患者の報告はなかった。過去5年間、県内での患者の報告はなく、全国でも2014年以降低いレベルで推移している。



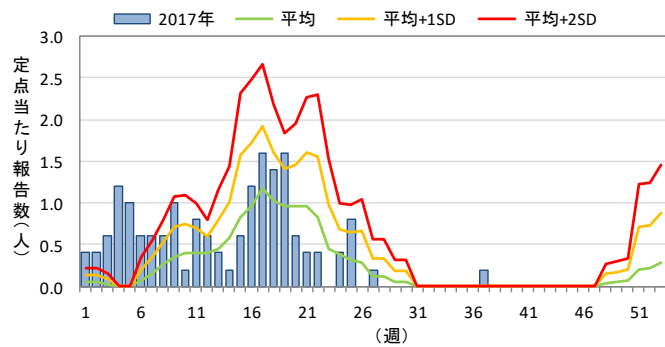
e. 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

患者情報

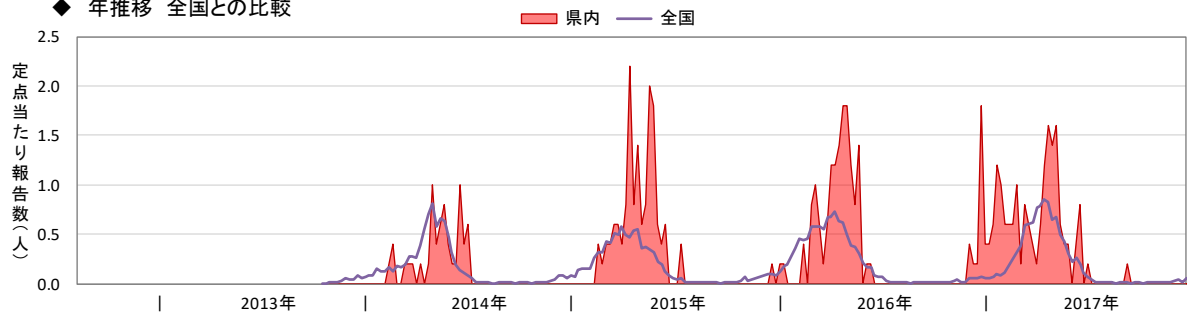
2017年の累積患者報告数は90人（定点当たり18.00人）で、前年（定点当たり17.80人）と同程度であった。第1～27週（1/2～7/9）に継続的に患者が報告され、特に第4～5週（1/23～2/5）、第16～19週（4/17～5/14）に増加した。年齢階級別では、1～4歳が多く、全体の70.0%を占めた。

◆ 週別報告数 過去4年間との比較

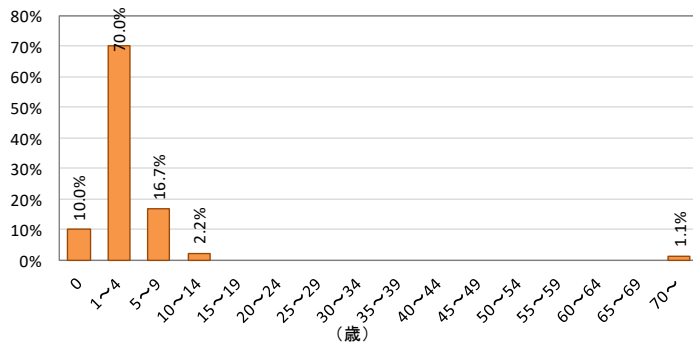
* 4年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



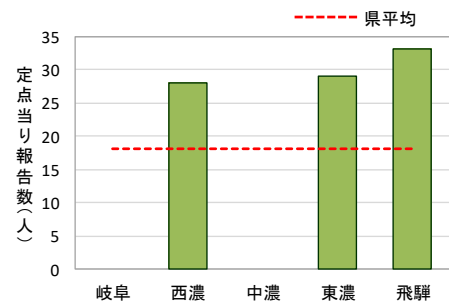
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



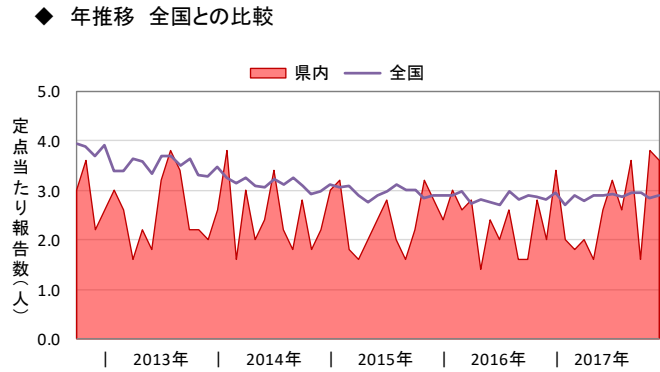
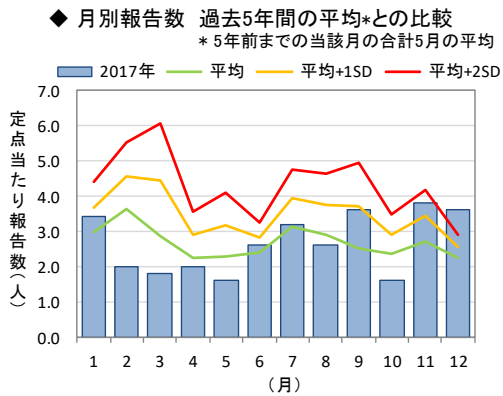
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



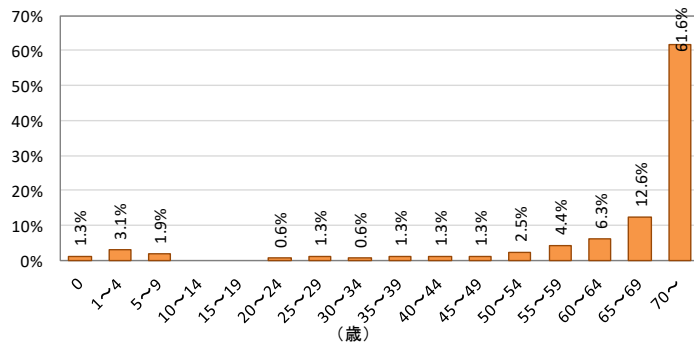
f. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

患者情報

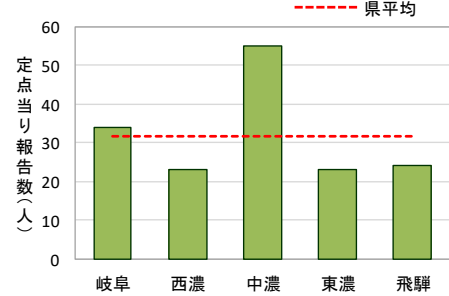
2017年の累積患者報告数は159人（定点当たり31.80人）で、前年（定点当たり27.20人）と比べて増加した。年齢階級別では、例年と同様に高齢者が多く70歳以上が全体の61.6%を占めた。



◆ 年齢階級別割合(2017年累積)



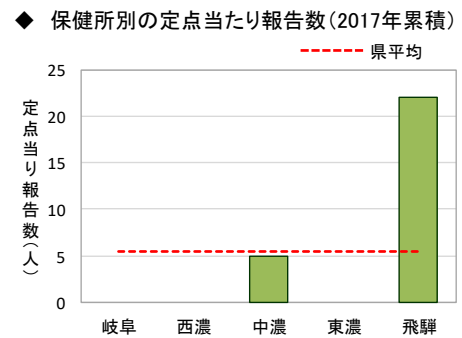
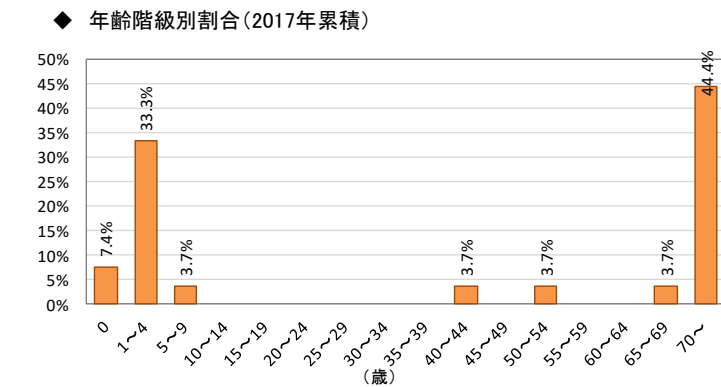
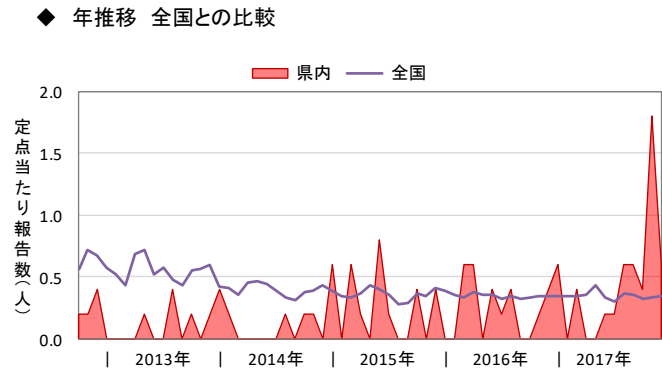
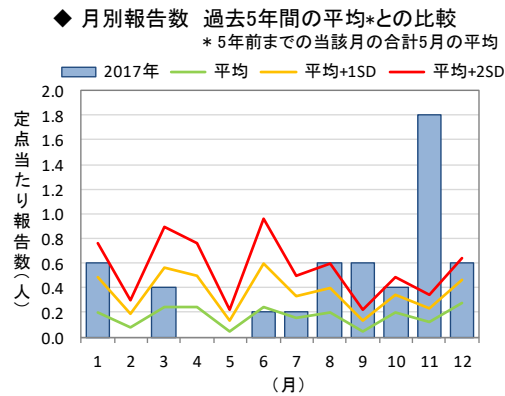
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



g. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

患者情報

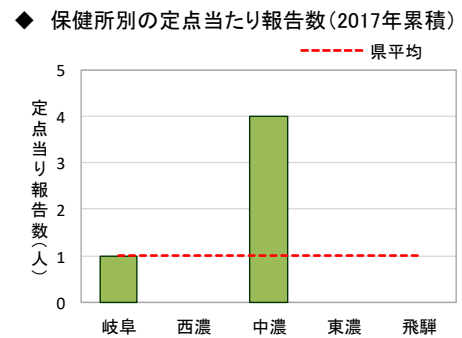
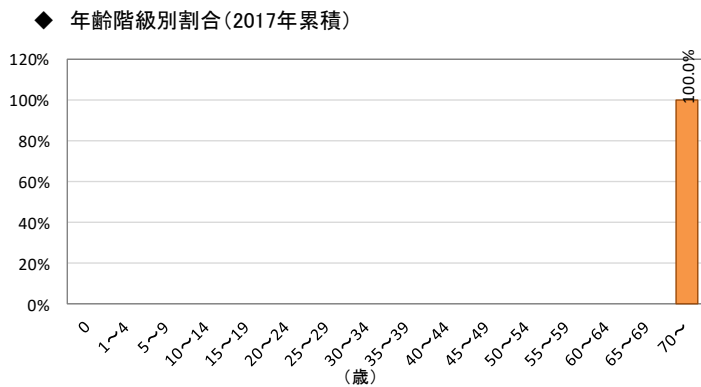
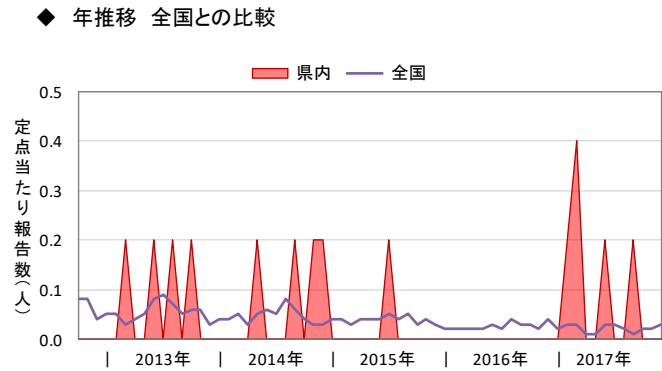
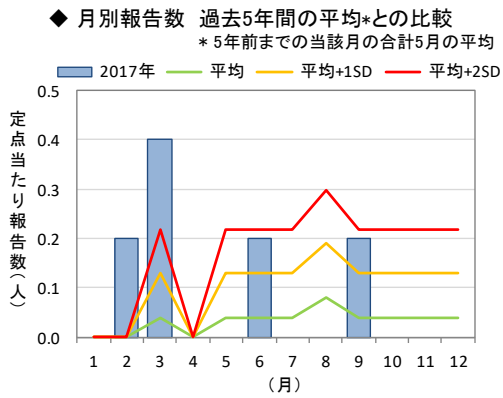
2017年の累積患者報告数は27人（定点当たり5.40人）で、前年（定点当たり2.80人）と比べて増加した。年間を通じて患者報告があり、年齢階級別では、70歳以上（44.4%）、1～4歳（33.3%）に多かった。



h. 薬剤耐性緑膿菌感染症

患者情報

2017年の累積患者報告数は5人（定点当たり1.0人）で、前年（0人）と比べて増加した。年齢階級はすべて70歳以上であった。過去5年間では、2012年1人、2013年4人、2014年4人、2015年1人の報告があった。

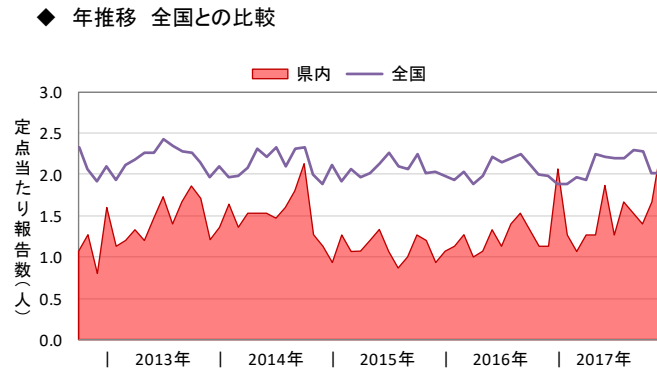
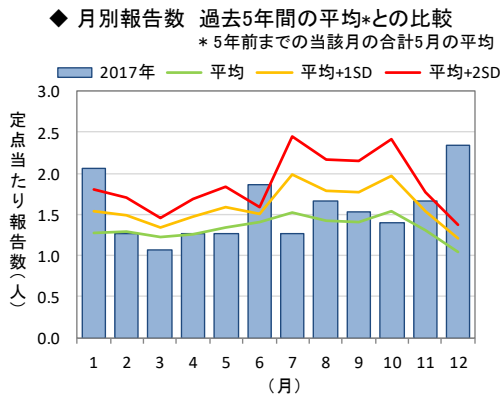


(5) 性感染症定点

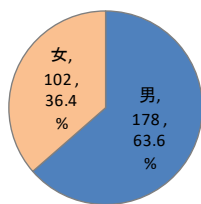
a. 性器クラミジア感染症

患者情報

2017年の累積患者報告数は280人（定点当たり18.67人）で、前年（定点当たり14.53人）と比べて増加した。性・年齢階級別では、男性では20～30歳代が多く、女性では10歳代後半～20歳代が多かった。

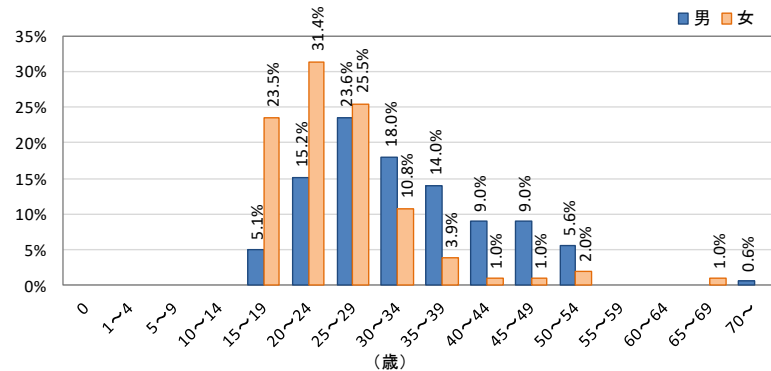


◆ 性別内訳

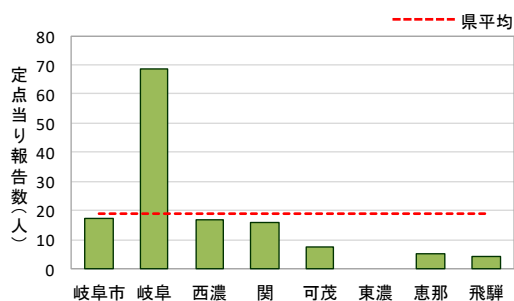


◆ 年齢階級別割合(2017年累積)

男性: 男性全体に占める割合、女性: 女性全体に占める割合



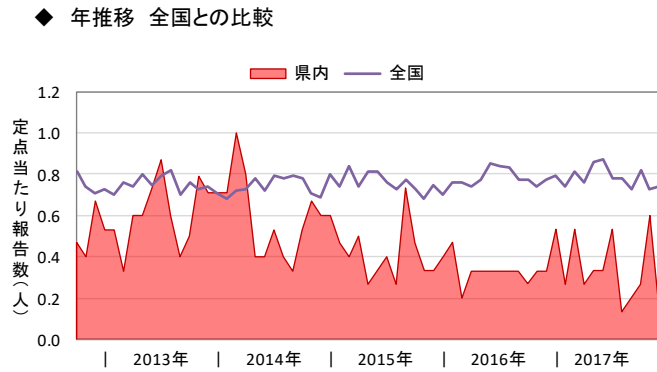
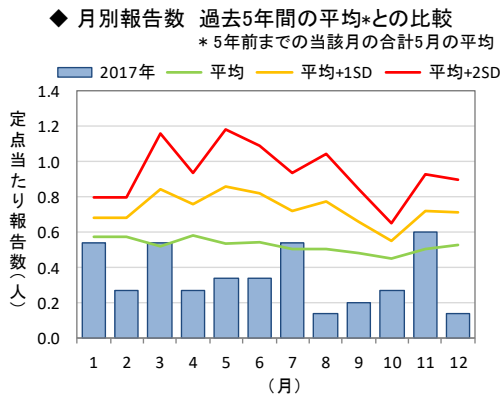
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



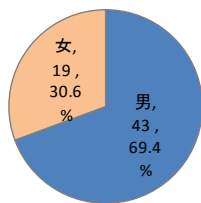
b. 性器ヘルペスウイルス感染症

患者情報

2017年の累積患者報告数は62人（定点当たり4.13人）で、前年（定点当たり4.00人）と同程度であった。男女ともに幅広い年齢階級で患者が報告されたが、男性では20歳代～30歳代前半に多く、女性では20歳代後半と60歳代前半に多かった。

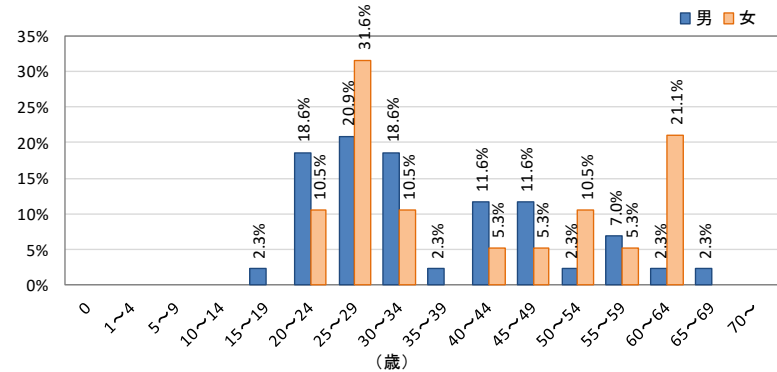


◆ 性別内訳

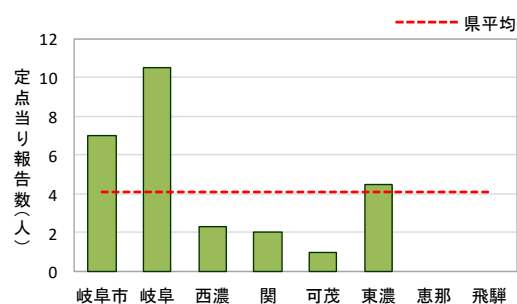


◆ 年齢階級別割合 (2017年累積)

男性: 男性全体に占める割合、女性: 女性全体に占める割合



◆ 保健所別の定点当たり報告数 (2017年累積)



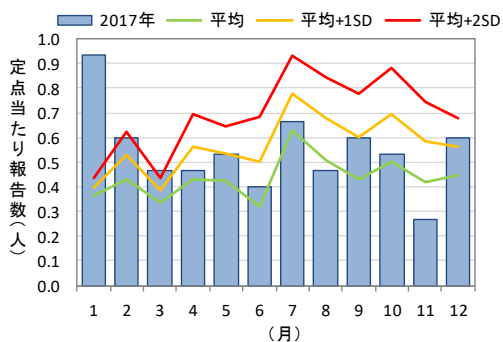
c. 尖圭コンジローマ

患者情報

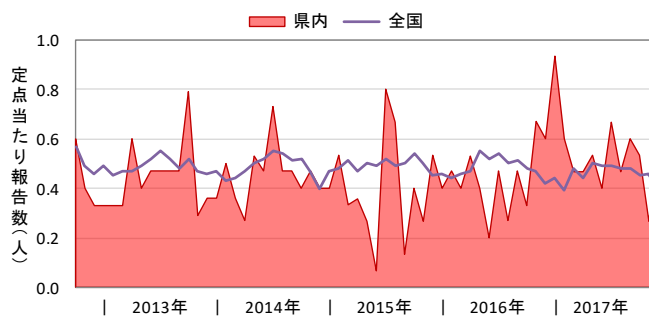
2017年の累積患者報告数は98人（定点当たり6.53人）で、前年（定点当たり5.20人）と比べて増加した。報告患者の95.9%が男性であり、男性の年齢階級は30歳代が最も多かった。女性では0歳の報告があった。

◆ 月別報告数 過去5年間の平均*との比較

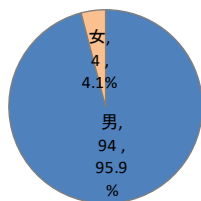
* 5年前までの当該月の合計5月の平均



◆ 年推移 全国との比較

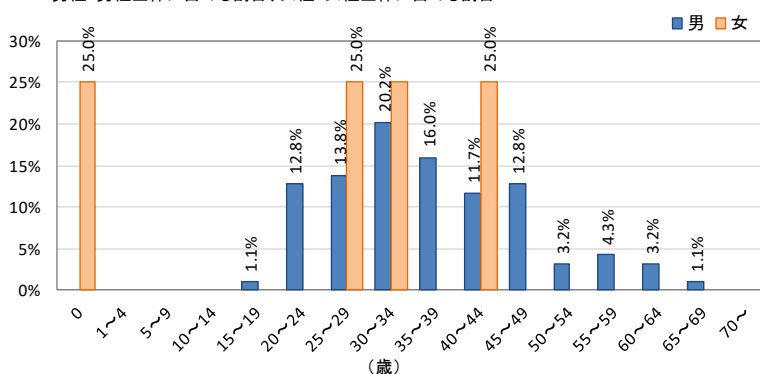


◆ 性別内訳

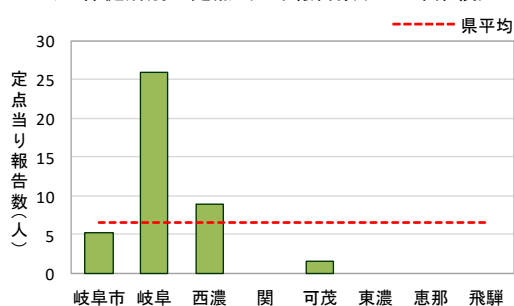


◆ 年齢階級別割合(2017年累積)

男性: 男性全体に占める割合、女性: 女性全体に占める割合



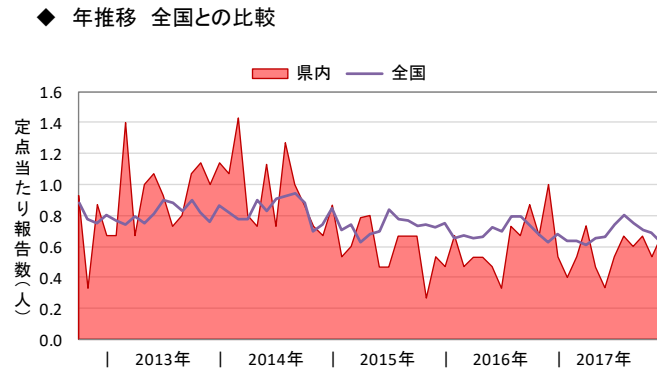
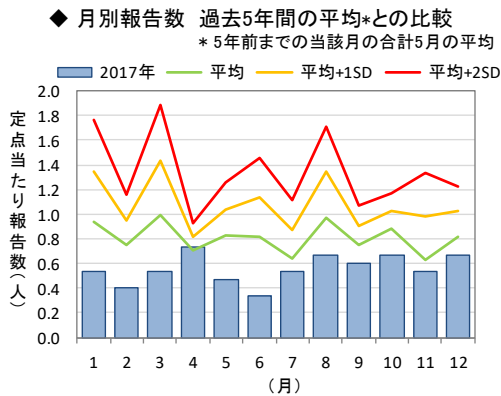
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



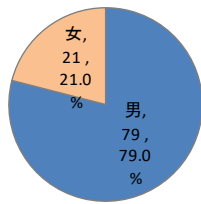
d. 淋菌感染症

患者情報

2017年の累積患者報告数は100人（定点当たり6.67人）で、前年（定点当たり7.40人）と比べてわずかに減少した。報告患者の79.0%が男性であった。年齢階級は、男女ともに20歳代が多かった。

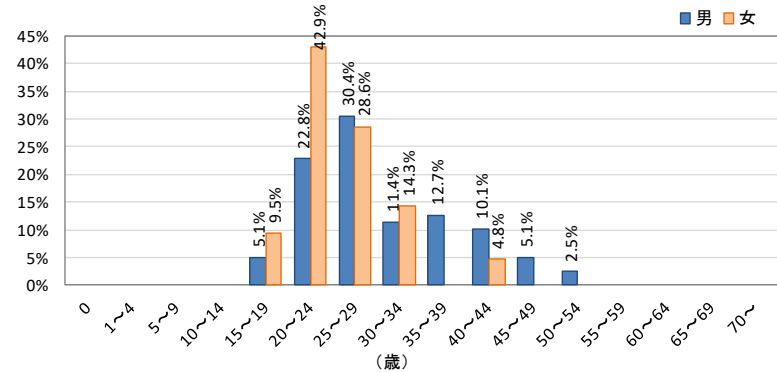


◆ 性別内訳

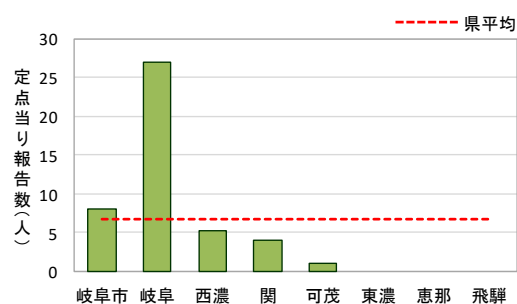


◆ 年齢階級別割合(2017年累積)

男性: 男性全体に占める割合、女性: 女性全体に占める割合



◆ 保健所別の定点当たり報告数(2017年累積)



3 感染症法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症
2017 年、疑似症の報告はなかった。

集計表

表 1	全数把握対象感染症	年別患者報告数
表 2	〃	性・年齢階級別患者報告数
表 3	〃	保健所別患者報告数
表 4	定点把握対象感染症	週/月別患者報告数・定点当たり報告数
表 5	〃	年齢階級別患者報告数
表 6	〃	保健所別患者報告数
表 7	病原体検出状況	

表1 全数把握対象感染症 年別患者報告数

類型	疾患名	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
1類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-
	ベスト	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-
2類	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
	結核	455	432	421	475	448
	ジフテリア	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-	-	-
3類	コレラ	-	-	-	-	-
	細菌性赤痢	3	3	-	-	2
	腸管出血性大腸菌感染症	57	37	27	50	101
	腸チフス	-	-	1	1	1
	パラチフス	-	-	-	-	-
4類	E型肝炎	-	3	-	3	1
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-
	A型肝炎	3	2	-	1	3
	エキノコックス症	-	-	-	-	-
	黄熱	-	-	-	-	-
	オウム病	-	-	-	-	2
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	-	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	-	-
	狂犬病	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	-	-
	ジカウイルス感染症	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群	-	-	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-
	チクングニア熱	-	1	-	-	-
	つつが虫病	14	9	16	27	9
	デング熱	4	7	6	3	2
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	-	-
	ポツリヌス症	-	-	-	1	-
	マラリア	-	1	1	1	-
	野兎病	-	-	-	-	-
	ライム病	-	-	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-
	類鼻疽	1	-	-	-	-
レジオネラ症	14	21	26	38	33	
レプトスピラ症	-	-	-	-	-	
ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	

表1(続き) 全数把握対象感染症 年別患者報告数

類型	疾患名	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
5類	アメーバ赤痢	13	17	16	14	14
	ウイルス性肝炎	-	-	3	1	4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	-	8	9	13
	急性脳炎	2	1	-	-	6
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	6	1	5	2	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	4	3	6	7
	後天性免疫不全症候群	16	21	23	26	12
	ジアルジア症	2	1	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	5	5	3	8
	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	3	3	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	25	27	43	47	33
	水痘(入院例に限る)	-	4	7	6	4
	先天性風しん症候群	-	-	-	-	-
	梅毒	7	11	18	33	69
	播種性クリプトコックス症	-	-	4	4	1
	破傷風	-	1	1	-	2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	-	1	-
風しん	31	2	1	3	1	
麻しん	-	3	1	-	-	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-	-	

表2 全数把握対象感染症 性・年齢階級別患者報告数 -2017年- (報告のあった疾患)
(男女計)

類型	疾患名	総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90歳~
2類	結核	448	5	2	2	2	4	36	29	40	29	44	77	127	51
3類	細菌性赤痢	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
	腸管出血性大腸菌感染症	101	1	15	28	8	9	6	7	4	9	5	5	4	-
	腸チフス	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
4類	E型肝炎	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	3	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-
	オウム病	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
	つつが虫病	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	-	-
	デング熱	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
レジオネラ症	33	-	-	-	-	-	-	-	-	5	13	9	6	-	
5類	アメーバ赤痢	14	-	-	-	-	-	-	3	1	5	4	1	-	-
	ウイルス性肝炎	4	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	6	-
	急性脳炎	6	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	-	-	-	1	-	-	1	1	1	1	1	1	-
	後天性免疫不全症候群	12	-	-	-	-	-	3	4	2	1	2	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	-	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	33	1	6	-	-	-	-	3	-	4	4	10	5	-
	水痘(入院例)	4	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	梅毒	69	-	-	-	-	1	17	13	18	8	8	1	2	1
	播種性クリプトコックス症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	破傷風	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	風しん	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

表2(続き) 全数把握対象感染症 性・年齢階級別患者報告数 -2017年- (報告のあった疾患)
(男性)

類型	疾患名	総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90歳~
2類	結核	232	1	1	-	1	3	17	7	18	11	29	52	74	18
3類	細菌性赤痢	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	腸管出血性大腸菌感染症	57	1	7	18	7	5	3	2	2	4	5	1	2	-
	腸チフス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4類	E型肝炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	オウム病	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	つつが虫病	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-
	デング熱	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
レジオネラ症	30	-	-	-	-	-	-	-	-	5	13	9	3	-	
5類	アメーバ赤痢	12	-	-	-	-	-	-	1	1	5	4	1	-	-
	ウイルス性肝炎	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	5	-
	急性脳炎	5	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-
	後天性免疫不全症候群	12	-	-	-	-	-	3	4	2	1	2	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	24	-	4	-	-	-	-	2	-	3	3	9	3	-
	水痘(入院例)	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	梅毒	45	-	-	-	-	-	9	10	14	6	5	1	-	-
	播種性クリプトコックス症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破傷風	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	風しん	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

(女性)

類型	疾患名	総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90歳~
2類	結核	216	4	1	2	1	1	19	22	22	18	15	25	53	33
3類	細菌性赤痢	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	44	-	8	10	1	4	3	5	2	5	-	4	2	-
	腸チフス	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
4類	E型肝炎	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
	オウム病	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	つつが虫病	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	デング熱	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
レジオネラ症	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
5類	アメーバ赤痢	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	ウイルス性肝炎	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-
	急性脳炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-
	後天性免疫不全症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	9	1	2	-	-	-	-	1	-	1	1	1	2	-
	水痘(入院例)	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	梅毒	24	-	-	-	-	1	8	3	4	2	3	-	2	1
	播種性クリプトコックス症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	破傷風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	風しん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表3 全数把握対象感染症 保健所別患者報告数 -2017年- (報告のあった疾患)

類型	疾患名	総数	岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
2類	結核	448	94	87	78	32	44	55	25	33
3類	細菌性赤痢	2	1	-	-	-	-	1	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	101	10	6	11	37	1	9	1	26
4類	腸チフス	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	E型肝炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	A型肝炎	3	2	-	-	-	-	-	1	-
	オウム病	2	-	-	-	-	-	2	-	-
	つつが虫病	9	1	1	-	5	-	-	-	2
	デング熱	2	2	-	-	-	-	-	-	-
	レジオネラ症	33	5	8	5	2	1	4	5	3
5類	アメーバ赤痢	14	9	-	-	-	2	2	1	-
	ウイルス性肝炎	4	-	-	3	-	1	-	-	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13	1	7	-	1	1	3	-	-
	急性脳炎	6	1	-	5	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4	4	-	-	-	-	-	-	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	2	1	2	-	1	1	-	-
	後天性免疫不全症候群	12	11	1	-	-	-	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8	1	-	5	1	-	1	-	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	33	18	2	10	-	-	2	1	-
	水痘(入院例)	4	-	1	3	-	-	-	-	-
	梅毒	69	25	10	10	-	5	12	3	4
	播種性クリプトコックス症	1	-	-	-	1	-	-	-	-
	破傷風	2	-	1	-	-	-	1	-	-
	風しん	1	-	1	-	-	-	-	-	-

表4-1 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2017年- (インフルエンザ定点・小児科定点)

インフルエンザ定点					小児科定点									
週	期間	インフルエンザ			定点数	RSウイルス感染症			咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎	
		定点数	報告数	定点当		報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	
1	1/2~1/8	87	1,729	19.87	53	18	0.34	10	0.19	21	0.40	205	3.87	
2	1/9~1/15	87	1,827	21.00	53	14	0.26	11	0.21	37	0.70	242	4.57	
3	1/16~1/22	87	2,423	27.85	53	13	0.25	22	0.42	45	0.85	221	4.17	
4	1/23~1/29	87	3,046	35.01	53	5	0.09	17	0.32	44	0.83	227	4.28	
5	1/30~2/5	87	2,824	32.46	53	21	0.40	13	0.25	30	0.57	234	4.42	
6	2/6~2/12	87	2,459	28.26	53	16	0.30	15	0.28	46	0.87	201	3.79	
7	2/13~2/19	87	1,826	20.99	53	21	0.40	19	0.36	40	0.75	191	3.60	
8	2/20~2/26	87	1,353	15.55	53	9	0.17	19	0.36	48	0.91	216	4.08	
9	2/27~3/5	87	1,006	11.56	53	4	0.08	22	0.42	55	1.04	189	3.57	
10	3/6~3/12	87	922	10.60	53	6	0.11	14	0.26	36	0.68	172	3.25	
11	3/13~3/19	87	735	8.45	53	9	0.17	13	0.25	38	0.72	135	2.55	
12	3/20~3/26	87	598	6.87	53	10	0.19	11	0.21	50	0.94	152	2.87	
13	3/27~4/2	87	458	5.26	53	7	0.13	10	0.19	37	0.70	173	3.26	
14	4/3~4/9	87	425	4.89	53	5	0.09	5	0.09	31	0.58	115	2.17	
15	4/10~4/16	87	229	2.63	53	8	0.15	8	0.15	37	0.70	142	2.68	
16	4/17~4/23	87	114	1.31	53	10	0.19	13	0.25	64	1.21	145	2.74	
17	4/24~4/30	87	136	1.56	53	5	0.09	10	0.19	69	1.30	164	3.09	
18	5/1~5/7	87	186	2.14	53	6	0.11	9	0.17	49	0.92	177	3.34	
19	5/8~5/14	87	74	0.85	53	4	0.08	19	0.36	72	1.36	191	3.60	
20	5/15~5/21	87	51	0.59	53	4	0.08	14	0.26	82	1.55	201	3.79	
21	5/22~5/28	87	31	0.36	53	1	0.02	22	0.42	117	2.21	243	4.58	
22	5/29~6/4	86	8	0.09	52	6	0.12	24	0.46	121	2.33	244	4.69	
23	6/5~6/11	85	9	0.11	51	4	0.08	33	0.65	103	2.02	244	4.78	
24	6/12~6/18	85	9	0.11	51	2	0.04	38	0.75	82	1.61	262	5.14	
25	6/19~6/25	85	3	0.04	51	5	0.10	43	0.84	77	1.51	290	5.69	
26	6/26~7/2	85	3	0.04	51	3	0.06	41	0.80	70	1.37	233	4.57	
27	7/3~7/9	84	6	0.07	50	5	0.10	37	0.74	79	1.58	194	3.88	
28	7/10~7/16	84	9	0.11	50	1	0.02	37	0.74	58	1.16	168	3.36	
29	7/17~7/23	85	1	0.01	51	5	0.10	25	0.49	37	0.73	109	2.14	
30	7/24~7/30	86	2	0.02	52	15	0.29	21	0.40	48	0.92	124	2.38	
31	7/31~8/6	87	2	0.02	53	28	0.53	27	0.51	37	0.70	144	2.72	
32	8/7~8/13	84	4	0.05	51	59	1.16	26	0.51	23	0.45	87	1.71	
33	8/14~8/20	87	15	0.17	53	91	1.72	14	0.26	26	0.49	85	1.60	
34	8/21~8/27	87	6	0.07	53	104	1.96	16	0.30	34	0.64	101	1.91	
35	8/28~9/3	87	4	0.05	53	148	2.79	14	0.26	32	0.60	99	1.87	
36	9/4~9/10	87	3	0.03	53	140	2.64	19	0.36	24	0.45	101	1.91	
37	9/11~9/17	87	5	0.06	53	177	3.34	23	0.43	20	0.38	113	2.13	
38	9/18~9/24	87	10	0.11	53	117	2.21	13	0.25	14	0.26	86	1.62	
39	9/25~10/1	86	10	0.12	52	120	2.31	4	0.08	30	0.58	85	1.63	
40	10/2~10/8	86	6	0.07	52	70	1.35	17	0.33	39	0.75	86	1.65	
41	10/9~10/15	86	6	0.07	52	55	1.06	7	0.13	45	0.87	80	1.54	
42	10/16~10/22	86	14	0.16	52	57	1.10	3	0.06	34	0.65	104	2.00	
43	10/23~10/29	86	18	0.21	52	58	1.12	14	0.27	27	0.52	103	1.98	
44	10/30~11/5	86	23	0.27	52	37	0.71	11	0.21	53	1.02	128	2.46	
45	11/6~11/12	86	25	0.29	52	35	0.67	18	0.35	42	0.81	158	3.04	
46	11/13~11/19	86	40	0.47	52	36	0.69	14	0.27	44	0.85	131	2.52	
47	11/20~11/26	86	64	0.74	52	36	0.69	18	0.35	60	1.15	167	3.21	
48	11/27~12/3	86	101	1.17	52	35	0.67	42	0.81	54	1.04	179	3.44	
49	12/4~12/10	87	152	1.75	53	28	0.53	41	0.77	74	1.40	206	3.89	
50	12/11~12/17	87	259	2.98	53	22	0.42	50	0.94	76	1.43	318	6.00	
51	12/18~12/24	87	540	6.21	53	29	0.55	36	0.68	64	1.21	346	6.53	
52	12/25~12/31	87	1,045	12.01	52	22	0.42	42	0.81	50	0.96	309	5.94	
	週平均	-	477.96	5.49	-	33.58	0.64	20.46	0.39	50.48	0.97	173.46	3.31	
	総数	-	24,854	287.66	-	1,746	33.32	1,064	20.31	2,625	50.10	9,020	172.14	

表4-2 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2017年- (小児科定点)

小児科定点												
週	期間	定点数	水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
			報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	1/2~1/8	53	17	0.32	5	0.09	-	-	6	0.11	1	0.02
2	1/9~1/15	53	19	0.36	1	0.02	-	-	11	0.21	1	0.02
3	1/16~1/22	53	13	0.25	9	0.17	1	0.02	15	0.28	-	-
4	1/23~1/29	53	5	0.09	8	0.15	4	0.08	19	0.36	-	-
5	1/30~2/5	53	12	0.23	4	0.08	4	0.08	20	0.38	-	-
6	2/6~2/12	53	13	0.25	5	0.09	-	-	8	0.15	-	-
7	2/13~2/19	53	17	0.32	6	0.11	1	0.02	9	0.17	-	-
8	2/20~2/26	53	7	0.13	3	0.06	1	0.02	15	0.28	1	0.02
9	2/27~3/5	53	16	0.30	6	0.11	1	0.02	12	0.23	-	-
10	3/6~3/12	53	15	0.28	8	0.15	1	0.02	13	0.25	1	0.02
11	3/13~3/19	53	27	0.51	2	0.04	6	0.11	21	0.40	-	-
12	3/20~3/26	53	4	0.08	-	-	2	0.04	14	0.26	1	0.02
13	3/27~4/2	53	13	0.25	1	0.02	1	0.02	15	0.28	-	-
14	4/3~4/9	53	13	0.25	4	0.08	1	0.02	11	0.21	-	-
15	4/10~4/16	53	8	0.15	-	-	3	0.06	17	0.32	-	-
16	4/17~4/23	53	4	0.08	2	0.04	4	0.08	18	0.34	-	-
17	4/24~4/30	53	8	0.15	7	0.13	1	0.02	16	0.30	-	-
18	5/1~5/7	53	6	0.11	4	0.08	1	0.02	21	0.40	-	-
19	5/8~5/14	53	13	0.25	1	0.02	-	-	14	0.26	-	-
20	5/15~5/21	53	7	0.13	11	0.21	-	-	22	0.42	2	0.04
21	5/22~5/28	53	16	0.30	17	0.32	1	0.02	25	0.47	-	-
22	5/29~6/4	52	7	0.13	17	0.33	1	0.02	8	0.15	-	-
23	6/5~6/11	51	14	0.27	18	0.35	1	0.02	15	0.29	1	0.02
24	6/12~6/18	51	9	0.18	39	0.76	2	0.04	23	0.45	-	-
25	6/19~6/25	51	24	0.47	58	1.14	3	0.06	10	0.20	1	0.02
26	6/26~7/2	51	6	0.12	70	1.37	4	0.08	17	0.33	2	0.04
27	7/3~7/9	50	11	0.22	117	2.34	6	0.12	15	0.30	-	-
28	7/10~7/16	50	7	0.14	228	4.56	1	0.02	9	0.18	1	0.02
29	7/17~7/23	51	9	0.18	378	7.41	-	-	14	0.27	-	-
30	7/24~7/30	52	9	0.17	544	10.46	1	0.02	26	0.50	-	-
31	7/31~8/6	53	3	0.06	624	11.77	-	-	13	0.25	-	-
32	8/7~8/13	51	10	0.20	401	7.86	-	-	13	0.25	-	-
33	8/14~8/20	53	9	0.17	321	6.06	2	0.04	12	0.23	-	-
34	8/21~8/27	53	14	0.26	248	4.68	3	0.06	19	0.36	1	0.02
35	8/28~9/3	53	6	0.11	247	4.66	3	0.06	8	0.15	1	0.02
36	9/4~9/10	53	6	0.11	171	3.23	1	0.02	11	0.21	-	-
37	9/11~9/17	53	7	0.13	132	2.49	1	0.02	18	0.34	1	0.02
38	9/18~9/24	53	8	0.15	104	1.96	2	0.04	7	0.13	-	-
39	9/25~10/1	52	3	0.06	77	1.48	1	0.02	9	0.17	-	-
40	10/2~10/8	52	8	0.15	72	1.38	1	0.02	10	0.19	-	-
41	10/9~10/15	52	8	0.15	80	1.54	1	0.02	14	0.27	-	-
42	10/16~10/22	52	7	0.13	61	1.17	-	-	10	0.19	1	0.02
43	10/23~10/29	52	4	0.08	114	2.19	2	0.04	20	0.38	2	0.04
44	10/30~11/5	52	13	0.25	66	1.27	-	-	11	0.21	-	-
45	11/6~11/12	52	20	0.38	53	1.02	1	0.02	19	0.37	-	-
46	11/13~11/19	52	16	0.31	42	0.81	1	0.02	16	0.31	-	-
47	11/20~11/26	52	15	0.29	53	1.02	-	-	24	0.46	-	-
48	11/27~12/3	52	22	0.42	48	0.92	-	-	9	0.17	-	-
49	12/4~12/10	53	16	0.30	60	1.13	1	0.02	14	0.26	1	0.02
50	12/11~12/17	53	16	0.30	44	0.83	-	-	18	0.34	1	0.02
51	12/18~12/24	53	10	0.19	24	0.45	-	-	17	0.32	1	0.02
52	12/25~12/31	52	14	0.27	21	0.40	-	-	9	0.17	3	0.06
	週平均	-	11.23	0.21	89.15	1.71	1.38	0.03	14.62	0.28	0.46	0.01
	総数	-	584	11.15	4,636	88.47	72	1.37	760	14.50	24	0.46

表4-3 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2017年- (小児科定点・眼科定点)

小児科定点							眼科定点				
週	期間	定点数	ヘルパンギーナ		流行性 耳下腺炎		定点数	急性出血性 結膜炎		流行性 角結膜炎	
			報告数	定点当	報告数	定点当		報告数	定点当	報告数	定点当
1	1/2~1/8	53	-	-	33	0.62	11	-	-	3	0.27
2	1/9~1/15	53	-	-	68	1.28	11	-	-	2	0.18
3	1/16~1/22	53	-	-	45	0.85	11	-	-	2	0.18
4	1/23~1/29	53	-	-	31	0.58	11	-	-	2	0.18
5	1/30~2/5	53	-	-	41	0.77	11	-	-	1	0.09
6	2/6~2/12	53	-	-	34	0.64	11	-	-	1	0.09
7	2/13~2/19	53	-	-	37	0.70	11	-	-	4	0.36
8	2/20~2/26	53	-	-	36	0.68	11	-	-	2	0.18
9	2/27~3/5	53	-	-	40	0.75	11	-	-	5	0.45
10	3/6~3/12	53	-	-	52	0.98	11	-	-	-	-
11	3/13~3/19	53	-	-	42	0.79	11	-	-	-	-
12	3/20~3/26	53	2	0.04	44	0.83	11	-	-	3	0.27
13	3/27~4/2	53	-	-	54	1.02	11	-	-	2	0.18
14	4/3~4/9	53	-	-	31	0.58	11	-	-	2	0.18
15	4/10~4/16	53	1	0.02	39	0.74	11	-	-	6	0.55
16	4/17~4/23	53	1	0.02	27	0.51	11	-	-	1	0.09
17	4/24~4/30	53	1	0.02	37	0.70	11	-	-	5	0.45
18	5/1~5/7	53	2	0.04	25	0.47	11	-	-	3	0.27
19	5/8~5/14	53	2	0.04	32	0.60	11	-	-	6	0.55
20	5/15~5/21	53	4	0.08	48	0.91	11	-	-	9	0.82
21	5/22~5/28	53	2	0.04	19	0.36	11	-	-	7	0.64
22	5/29~6/4	52	6	0.12	53	1.02	11	-	-	5	0.45
23	6/5~6/11	51	6	0.12	42	0.82	11	-	-	5	0.45
24	6/12~6/18	51	12	0.24	23	0.45	11	-	-	4	0.36
25	6/19~6/25	51	12	0.24	42	0.82	11	-	-	2	0.18
26	6/26~7/2	51	11	0.22	34	0.67	11	-	-	7	0.64
27	7/3~7/9	50	19	0.38	23	0.46	11	-	-	4	0.36
28	7/10~7/16	50	35	0.70	33	0.66	11	-	-	9	0.82
29	7/17~7/23	51	53	1.04	26	0.51	11	-	-	5	0.45
30	7/24~7/30	52	112	2.15	27	0.52	11	-	-	8	0.73
31	7/31~8/6	53	86	1.62	47	0.89	11	-	-	16	1.45
32	8/7~8/13	51	36	0.71	19	0.37	11	-	-	4	0.36
33	8/14~8/20	53	21	0.40	25	0.47	11	-	-	15	1.36
34	8/21~8/27	53	34	0.64	38	0.72	11	-	-	10	0.91
35	8/28~9/3	53	27	0.51	16	0.30	11	-	-	7	0.64
36	9/4~9/10	53	15	0.28	25	0.47	11	-	-	8	0.73
37	9/11~9/17	53	28	0.53	29	0.55	11	-	-	3	0.27
38	9/18~9/24	53	16	0.30	18	0.34	11	-	-	4	0.36
39	9/25~10/1	52	17	0.33	33	0.63	11	-	-	6	0.55
40	10/2~10/8	52	18	0.35	16	0.31	11	-	-	5	0.45
41	10/9~10/15	52	16	0.31	12	0.23	11	-	-	6	0.55
42	10/16~10/22	52	9	0.17	15	0.29	11	-	-	7	0.64
43	10/23~10/29	52	14	0.27	16	0.31	11	-	-	1	0.09
44	10/30~11/5	52	16	0.31	8	0.15	11	-	-	4	0.36
45	11/6~11/12	52	7	0.13	17	0.33	11	-	-	2	0.18
46	11/13~11/19	52	14	0.27	10	0.19	11	-	-	1	0.09
47	11/20~11/26	52	8	0.15	11	0.21	11	-	-	3	0.27
48	11/27~12/3	52	5	0.10	9	0.17	11	-	-	2	0.18
49	12/4~12/10	53	3	0.06	8	0.15	11	-	-	2	0.18
50	12/11~12/17	53	3	0.06	11	0.21	11	-	-	3	0.27
51	12/18~12/24	53	2	0.04	19	0.36	11	-	-	4	0.36
52	12/25~12/31	52	1	0.02	5	0.10	11	-	-	6	0.55
週平均		-	13.02	0.25	29.33	0.56	-	0.00	0.00	4.50	0.41
総数		-	677	12.92	1,525	29.10	-	-	-	234	21.27

表4-4 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2017年- (基幹定点)

基幹定点(週報)			細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)		
週	期間	定点数	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	
1	1/2~1/8	5	-	-	-	-	14	2.80	-	-	2	0.40	
2	1/9~1/15	5	-	-	1	0.20	8	1.60	-	-	2	0.40	
3	1/16~1/22	5	-	-	1	0.20	13	2.60	-	-	3	0.60	
4	1/23~1/29	5	-	-	-	-	4	0.80	-	-	6	1.20	
5	1/30~2/5	5	-	-	-	-	12	2.40	-	-	5	1.00	
6	2/6~2/12	5	-	-	-	-	6	1.20	-	-	3	0.60	
7	2/13~2/19	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	3	0.60	
8	2/20~2/26	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	3	0.60	
9	2/27~3/5	5	-	-	-	-	4	0.80	-	-	5	1.00	
10	3/6~3/12	5	-	-	1	0.20	2	0.40	-	-	1	0.20	
11	3/13~3/19	5	-	-	1	0.20	4	0.80	-	-	4	0.80	
12	3/20~3/26	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	3	0.60	
13	3/27~4/2	5	-	-	2	0.40	5	1.00	-	-	2	0.40	
14	4/3~4/9	5	-	-	1	0.20	4	0.80	-	-	1	0.20	
15	4/10~4/16	5	-	-	-	-	6	1.20	-	-	3	0.60	
16	4/17~4/23	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	6	1.20	
17	4/24~4/30	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	8	1.60	
18	5/1~5/7	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	7	1.40	
19	5/8~5/14	5	-	-	-	-	4	0.80	-	-	8	1.60	
20	5/15~5/21	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	3	0.60	
21	5/22~5/28	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	2	0.40	
22	5/29~6/4	5	1	0.20	-	-	1	0.20	-	-	2	0.40	
23	6/5~6/11	5	-	-	2	0.40	2	0.40	-	-	-	-	
24	6/12~6/18	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	2	0.40	
25	6/19~6/25	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	4	0.80	
26	6/26~7/2	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-	
27	7/3~7/9	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	1	0.20	
28	7/10~7/16	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-	
29	7/17~7/23	5	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-	
30	7/24~7/30	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-	
31	7/31~8/6	5	-	-	-	-	5	1.00	-	-	-	-	
32	8/7~8/13	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-	
33	8/14~8/20	5	-	-	1	0.20	6	1.20	-	-	-	-	
34	8/21~8/27	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-	
35	8/28~9/3	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-	
36	9/4~9/10	5	-	-	-	-	7	1.40	-	-	-	-	
37	9/11~9/17	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	1	0.20	
38	9/18~9/24	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-	
39	9/25~10/1	5	-	-	1	0.20	4	0.80	-	-	-	-	
40	10/2~10/8	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-	
41	10/9~10/15	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-	
42	10/16~10/22	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-	
43	10/23~10/29	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-	
44	10/30~11/5	5	-	-	-	-	8	1.60	-	-	-	-	
45	11/6~11/12	5	-	-	-	-	4	0.80	-	-	-	-	
46	11/13~11/19	5	-	-	3	0.60	4	0.80	-	-	-	-	
47	11/20~11/26	5	-	-	1	0.20	2	0.40	-	-	-	-	
48	11/27~12/3	5	-	-	-	-	4	0.80	-	-	-	-	
49	12/4~12/10	5	-	-	-	-	4	0.80	-	-	-	-	
50	12/11~12/17	5	-	-	1	0.20	4	0.80	-	-	-	-	
51	12/18~12/24	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-	
52	12/25~12/31	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-	
週平均			-	0.02	0.00	0.33	0.07	3.71	0.74	-	-	1.73	0.35
総数			-	1	0.20	17	3.40	193	38.60	-	-	90	18.00

表4-5 定点把握対象感染症 月別患者報告数・定点当たり報告数 -2017年- (基幹定点・性感染症定点)

基幹定点(月報)							
月	定点数	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症		薬剤耐性 緑膿菌 感染症	
		報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	5	17	3.40	3	0.60	-	-
2	5	10	2.00	-	-	1	0.20
3	5	9	1.80	2	0.40	2	0.40
4	5	10	2.00	-	-	-	-
5	5	8	1.60	-	-	-	-
6	5	13	2.60	1	0.20	1	0.20
7	5	16	3.20	1	0.20	-	-
8	5	13	2.60	3	0.60	-	-
9	5	18	3.60	3	0.60	1	0.20
10	5	8	1.60	2	0.40	-	-
11	5	19	3.80	9	1.80	-	-
12	5	18	3.60	3	0.60	-	-
月平均		13.25	2.65	2.25	0.45	0.42	0.08
総数		159	31.80	27	5.40	5	1.00

性感染症定点													
		性器クラミジア感染症						性器ヘルペスウイルス感染症					
		男女計		男		女		男女計		男		女	
月	定点数	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	15	31	2.07	19	1.27	12	0.80	8	0.53	4	0.27	4	0.27
2	15	19	1.27	11	0.73	8	0.53	4	0.27	3	0.20	1	0.07
3	15	16	1.07	9	0.60	7	0.47	8	0.53	5	0.33	3	0.20
4	15	19	1.27	13	0.87	6	0.40	4	0.27	3	0.20	1	0.07
5	15	19	1.27	12	0.80	7	0.47	5	0.33	4	0.27	1	0.07
6	15	28	1.87	15	1.00	13	0.87	5	0.33	5	0.33	-	-
7	15	19	1.27	14	0.93	5	0.33	8	0.53	4	0.27	4	0.27
8	15	25	1.67	17	1.13	8	0.53	2	0.13	2	0.13	-	-
9	15	23	1.53	17	1.13	6	0.40	3	0.20	2	0.13	1	0.07
10	15	21	1.40	13	0.87	8	0.53	4	0.27	4	0.27	-	-
11	15	25	1.67	19	1.27	6	0.40	9	0.60	5	0.33	4	0.27
12	15	35	2.33	19	1.27	16	1.07	2	0.13	2	0.13	-	-
月平均		23.33	1.56	14.83	0.99	8.50	0.57	5.17	0.34	3.58	0.24	1.58	0.11
総数		280	18.67	178	11.87	102	6.80	62	4.13	43	2.87	19	1.27

性感染症定点													
		尖圭コンジローマ						淋菌感染症					
		男女計		男		女		男女計		男		女	
月	定点数	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	15	14	0.93	12	0.80	2	0.13	8	0.53	6	0.40	2	0.13
2	15	9	0.60	8	0.53	1	0.07	6	0.40	4	0.27	2	0.13
3	15	7	0.47	7	0.47	-	-	8	0.53	7	0.47	1	0.07
4	15	7	0.47	7	0.47	-	-	11	0.73	9	0.60	2	0.13
5	15	8	0.53	8	0.53	-	-	7	0.47	5	0.33	2	0.13
6	15	6	0.40	6	0.40	-	-	5	0.33	4	0.27	1	0.07
7	15	10	0.67	10	0.67	-	-	8	0.53	7	0.47	1	0.07
8	15	7	0.47	7	0.47	-	-	10	0.67	9	0.60	1	0.07
9	15	9	0.60	8	0.53	1	0.07	9	0.60	7	0.47	2	0.13
10	15	8	0.53	8	0.53	-	-	10	0.67	6	0.40	4	0.27
11	15	4	0.27	4	0.27	-	-	8	0.53	6	0.40	2	0.13
12	15	9	0.60	9	0.60	-	-	10	0.67	9	0.60	1	0.07
月平均		8.17	0.54	7.83	0.52	0.33	0.02	8.33	0.56	6.58	0.44	1.75	0.12
総数		98	6.53	94	6.27	4	0.27	100	6.67	79	5.27	21	1.40

表5-1 定点把握対象感染症 年齢階級別患者報告数・定点当たり報告数 -2017年- (インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点)

インフルエンザ定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79
インフルエンザ	24,854 287.66	93 1.08	142 1.64	580 6.71	558 6.46	730 8.45	1,070 12.38	1,072 12.41	972 11.25	895 10.36	838 9.70	799 9.25	3,771 43.65	1,803 20.87	1,904 22.04	2,029 23.48	2,096 24.26	1,493 17.28	1,403 16.24	1,079 12.49
小児科定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～					
RSウイルス感染症	1,746 33.32	420 8.02	363 6.93	576 10.99	238 4.54	88 1.68	38 0.73	11 0.21	3 0.06	3 0.06	3 0.06	1 0.02	1 0.02	-	1 0.02					
咽頭結膜熱	1,064 20.31	9 0.17	53 1.01	232 4.43	174 3.32	150 2.86	175 3.34	108 2.06	65 1.24	28 0.53	21 0.40	18 0.34	17 0.32	1 0.02	13 0.25					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,625 50.10	3 0.06	18 0.34	117 2.23	176 3.36	276 5.27	398 7.60	423 8.07	322 6.15	241 4.60	164 3.13	140 2.67	221 4.22	15 0.29	111 2.12					
感染性胃腸炎	9,020 172.14	138 2.63	526 10.04	1,362 25.99	1,115 21.28	1,016 19.39	1,090 20.80	835 15.94	642 12.25	453 8.65	362 6.91	298 5.69	727 13.87	83 1.58	373 7.12					
水痘	584 11.15	12 0.23	23 0.44	53 1.01	33 0.63	46 0.88	61 1.16	99 1.89	87 1.66	59 1.13	41 0.78	27 0.52	36 0.69	2 0.04	5 0.10					
手足口病	4,636 88.47	40 0.76	321 6.13	1,288 24.58	916 17.48	703 13.42	579 11.05	359 6.85	170 3.24	92 1.76	47 0.90	45 0.86	52 0.99	1 0.02	23 0.44					
伝染性紅斑	72 1.37	-	6 0.11	9 0.17	5 0.10	9 0.17	8 0.15	19 0.36	4 0.08	5 0.10	1 0.02	1 0.02	5 0.10	-	-					
突発性発しん	760 14.50	8 0.15	293 5.59	375 7.16	58 1.11	11 0.21	7 0.13	1 0.02	1 0.02	2 0.04	3 0.06	1 0.02	-	-	-					
百日咳	24 0.46	1 0.02	3 0.06	8 0.15	1 0.02	5 0.10	3 0.06	2 0.04	-	-	-	-	-	1 0.02	-					
ヘルパンギーナ	677 12.92	6 0.11	48 0.92	202 3.85	135 2.58	98 1.87	75 1.43	46 0.88	15 0.29	20 0.38	15 0.29	6 0.11	8 0.15	-	3 0.06					
流行性耳下腺炎	1,525 29.10	-	2 0.04	29 0.55	65 1.24	168 3.21	227 4.33	256 4.89	237 4.52	183 3.49	116 2.21	84 1.60	138 2.63	6 0.11	14 0.27					
眼科定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	234 21.27	2 0.18	-	6 0.55	7 0.64	5 0.45	12 1.09	6 0.55	2 0.18	5 0.45	2 0.18	2 0.18	9 0.82	4 0.36	19 1.73	58 5.27	25 2.27	20 1.82	27 2.45	23 2.09
基幹定点(週報)	総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～			
細菌性髄膜炎	1 0.20	-	-	1 0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
無菌性髄膜炎	17 3.40	-	1 0.20	14 2.80	2 0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
マイコプラズマ肺炎	193 38.60	-	23 4.60	83 16.60	62 12.40	13 2.60	2 0.40	1 0.20	-	-	2 0.40	-	-	2 0.40	-	1 0.20	4 0.80			
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	90 18.00	9 1.80	63 12.60	15 3.00	2 0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 0.20			

※ 上段: 報告数、下段: 定点当たり報告数

表5-2 定点把握対象感染症 年齢階級別患者報告数・定点当たり報告数 -2017年- (基幹定点・性感染症定点)

基幹定点(月報)	総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳~
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	159 31.80	2 0.40	5 1.00	3 0.60	-	-	1 0.20	2 0.40	1 0.20	2 0.40	2 0.40	2 0.40	4 0.80	7 1.40	10 2.00	20 4.00	98 19.60
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	27 5.40	2 0.40	9 1.80	1 0.20	-	-	-	-	-	-	1 0.20	-	1 0.20	-	-	1 0.20	12 2.40
薬剤耐性緑膿菌感染症	5 1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5 1.00

性感染症定点		総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳~
性器クラミジア感染症	男女計	280 18.67	-	-	-	-	33 2.20	59 3.93	68 4.53	43 2.87	29 1.93	17 1.13	17 1.13	12 0.80	-	-	1 0.07	1 0.07
	男	178 11.87	-	-	-	-	9 0.60	27 1.80	42 2.80	32 2.13	25 1.67	16 1.07	16 1.07	10 0.67	-	-	-	1 0.07
	女	102 6.80	-	-	-	-	24 1.60	32 2.13	26 1.73	11 0.73	4 0.27	1 0.07	1 0.07	2 0.13	-	-	1 0.07	-
性器ヘルペスウイルス感染症	男女計	62 4.13	-	-	-	-	1 0.07	10 0.67	15 1.00	10 0.67	1 0.07	6 0.40	6 0.40	3 0.20	4 0.27	5 0.33	1 0.07	-
	男	43 2.87	-	-	-	-	1 0.07	8 0.53	9 0.60	8 0.53	1 0.07	5 0.33	5 0.33	1 0.07	3 0.20	1 0.07	1 0.07	-
	女	19 1.27	-	-	-	-	-	2 0.13	6 0.40	2 0.13	-	1 0.07	1 0.07	2 0.13	1 0.07	4 0.27	-	-
尖圭コンジローマ	男女計	98 6.53	1 0.07	-	-	-	1 0.07	12 0.80	14 0.93	20 1.33	15 1.00	12 0.80	12 0.80	3 0.20	4 0.27	3 0.20	1 0.07	-
	男	94 6.27	-	-	-	-	1 0.07	12 0.80	13 0.87	19 1.27	15 1.00	11 0.73	12 0.80	3 0.20	4 0.27	3 0.20	1 0.07	-
	女	4 0.27	1 0.07	-	-	-	-	-	1 0.07	1 0.07	-	1 0.07	-	-	-	-	-	-
淋菌感染症	男女計	100 6.67	-	-	-	-	6 0.40	27 1.80	30 2.00	12 0.80	10 0.67	9 0.60	4 0.27	2 0.13	-	-	-	-
	男	79 5.27	-	-	-	-	4 0.27	18 1.20	24 1.60	9 0.60	10 0.67	8 0.53	4 0.27	2 0.13	-	-	-	-
	女	21 1.40	-	-	-	-	2 0.13	9 0.60	6 0.40	3 0.20	-	1 0.07	-	-	-	-	-	-

表6-1 定点把握対象感染症 保健所別患者報告数・定点当たり報告数 -2017年-
(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点)

定点種別	疾患名	総数	保健所							
			岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
インフルエンザ	インフルエンザ	24,854	5,429	5,444	3,700	3,082	1,508	2,377	1,256	2,058
		287.66	398.31	320.99	249.49	385.25	188.50	297.87	179.43	205.80
小児科	RSウイルス感染症	1,746	524	442	273	98	138	153	52	66
		33.32	60.72	44.38	30.92	19.60	27.60	30.72	13.00	11.00
	咽頭結膜熱	1,064	244	264	234	25	39	90	147	21
		20.31	28.27	26.51	26.50	5.00	7.80	18.07	36.75	3.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,625	451	943	289	207	256	111	113	255
		50.10	52.26	94.68	32.73	41.40	51.20	22.29	28.25	42.50
	感染性胃腸炎	9,020	1,984	2,661	1,343	883	438	720	818	173
		172.14	229.90	267.17	152.10	176.60	87.60	144.58	204.50	28.83
	水痘	584	90	139	75	62	20	64	111	23
		11.15	10.43	13.96	8.49	12.40	4.00	12.85	27.75	3.83
	手足口病	4,636	811	1,321	748	421	267	312	562	194
		88.47	93.97	132.63	84.71	84.20	53.40	62.65	140.50	32.33
	伝染性紅斑	72	7	14	2	34	3	6	3	3
	1.37	0.81	1.41	0.23	6.80	0.60	1.20	0.75	0.50	
突発性発しん	760	184	216	172	36	40	27	68	17	
	14.50	21.32	21.69	19.48	7.20	8.00	5.42	17.00	2.83	
百日咳	24	1	17	1	3	1	-	1	-	
	0.46	0.12	1.71	0.11	0.60	0.20	-	0.25	-	
ヘルパンギーナ	677	155	179	61	201	15	31	26	9	
	12.92	17.96	17.97	6.91	40.20	3.00	6.22	6.50	1.50	
流行性耳下腺炎	1,525	215	322	311	71	129	278	12	187	
	29.10	24.91	32.33	35.22	14.20	25.80	55.82	3.00	31.17	
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	234	105	13	60	-	31	3	17	5	
	21.27	52.50	6.50	20.00	-	31.00	3.00	17.00	5.00	

定点種別	疾患名	総数	圏域				
			岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨
基幹 (週報)	細菌性髄膜炎	1	-	1	-	-	-
		0.20	-	1.00	-	-	-
	無菌性髄膜炎	17	-	16	1	-	-
		3.40	-	16.00	1.00	-	-
	マイコプラズマ肺炎	193	-	136	19	24	14
		38.60	-	136.00	19.00	24.00	14.00
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	90	-	28	-	29	33	
	18.00	-	28.00	-	29.00	33.00	

※ 上段: 報告数、下段: 定点当り報告数

表6-2 定点把握対象感染症 保健所別患者報告数・定点当たり報告数 -2017年- (基幹定点・性感染症定点)

定点種別	疾患名	総数	圏域				
			岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨
基幹 (月報)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	159 31.80	34 34.00	23 23.00	55 55.00	23 23.00	24 24.00
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	27 5.40	- -	- -	5 5.00	- -	22 22.00
	薬剤耐性緑膿菌感染症	5 1.00	1 1.00	- -	4 4.00	- -	- -

定点種別	疾患名	総数	保健所								
			岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨	
性感染症	性器クラミジア感染症	男女計	280 18.67	52 17.33	137 68.50	51 17.00	16 16.00	15 7.50	-	5 5.00	4 4.00
		男	178 11.87	33 11.00	111 55.50	17 5.67	3 3.00	11 5.50	-	-	3 3.00
		女	102 6.80	19 6.33	26 13.00	34 11.33	13 13.00	4 2.00	-	5 5.00	1 1.00
	性器ヘルペスウイルス感染症	男女計	62 4.13	21 7.00	21 10.50	7 2.33	2 2.00	2 1.00	9 4.50	-	-
		男	43 2.87	18 6.00	18 9.00	3 1.00	-	-	4 2.00	-	-
		女	19 1.27	3 1.00	3 1.50	4 1.33	2 2.00	2 1.00	5 2.50	-	-
	尖圭コンジローマ	男女計	98 6.53	16 5.33	52 26.00	27 9.00	-	3 1.50	-	-	-
		男	94 6.27	14 4.67	52 26.00	26 8.67	-	2 1.00	-	-	-
		女	4 0.27	2 0.67	-	1 0.33	-	1 0.50	-	-	-
	淋菌感染症	男女計	100 6.67	24 8.00	54 27.00	16 5.33	4 4.00	2 1.00	-	-	-
		男	79 5.27	22 7.33	41 20.50	14 4.67	-	2 1.00	-	-	-
		女	21 1.40	2 0.67	13 6.50	2 0.67	4 4.00	-	-	-	-

※ 上段: 報告数、下段: 定点当たり報告数

表7 病原体検出状況 -2017年-

(定点把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
インフルエンザ	検査症例数	29	24	16	16	3				1	2	3	30	124
	インフルエンザウイルス AH1pdm09	2								1		3		6
	インフルエンザウイルス AH3	27	21	11	13	1				1	2	2		78
	インフルエンザウイルス B型		2	4	3	2				1		1	24	37
	不検出		1	1									1	
RSウイルス感染症	検査症例数	2	2	1	1	1	1	2	5	7	3	7	2	34
	RSウイルス	2	2		1	1		2	5	7	3	7	2	32
	不検出			1			1							2
咽頭結膜熱	検査症例数	1	1	1	1	2	3	2	3	1		1	4	20
	アデノウイルス1型												1	1
	アデノウイルス2型					2	2	1	1	1			1	8
	アデノウイルス3型	1							2			1	1	5
	アデノウイルス5型		1	1										2
	アデノウイルス54型				1		1							2
	アデノウイルス型別不能												1	1
	不検出							1						1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*1	検査症例数	4	4	2	7	4	4	2		2	3	7	5	44
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1型						1					1		2
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4型	2			2		1	1		1	2	2	3	14
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T6型						1					1		2
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12型						1	1				1	1	4
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264型			1	1							2		4
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T型別不能	2	4	1	4	4	2			1			1	18
	不検出											1	1	2
感染性胃腸炎	検査症例数		1	4	5	16	8	5	2		2	2	3	48
	ノロウイルスGII				2	8		1				1	2	14
	A群ロタウイルスG1型					1								1
	A群ロタウイルスG2型					1								1
	A群ロタウイルスG9型			4	1	1								6
	A群ロタウイルスG12型					1								1
	サボウイルス				2									2
	アデノウイルス41型					1						1		2
	アデノウイルス(未型別)						1							1
	コクサッキーウイルスB2型										1			1
	ヒトパレコウイルス1型							1						1
	ライノウイルス							1						1
	<i>Campylobacter jejuni</i>							1						1
	サルモネラ O4群									2				2
	サルモネラ O9群											1		1
下痢原性大腸菌(EAST1EC)												1	1	
	不検出		1			3	5	3						12
水痘	検査症例数	1		1								3		5
	水痘・帯状疱疹ウイルス	1		1								3		5
	ライノウイルス											1		1
手足口病	検査症例数	1			2	4	7	6	4	4	3		31	
	コクサッキーウイルスA6型	1				1	5	2	1	1	1		12	
	コクサッキーウイルスA16型					1	2		1				4	
	エンテロウイルス71型					1		2	2	1	3	2	11	
	ヒトパレコウイルス1型								1				1	
	ライノウイルス				1	1	2	1			1	2	8	
	不検出					1		2	1				4	
伝染性紅斑	検査症例数		1										1	
	不検出		1										1	
突発性発しん	検査症例数				1								1	
	ヒトヘルペスウイルス6型				1								1	
百日咳	検査症例数				1	1						1	3	
	百日咳菌					1							1	
	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>				1								1	
	不検出											1	1	
ヘルパンギーナ	検査症例数						1	2	1	1			5	
	コクサッキーウイルスA6型							1					1	
	コクサッキーウイルスA10型								1	1			2	
	ライノウイルス										1		1	
	不検出						1	1					2	
流行性耳下腺炎	検査症例数	2	4	5	5	1	2	3	1	1	1	1	26	
	ムンプスウイルス	2	4	5	4	1	2	2	1	1	1		23	
	アデノウイルス1型			1									1	
	ライノウイルス											1	1	
	不検出				1			1					2	

*1 重複検出2例を含む(T1とT6:6月1例、T4とT型別不能:6月1例)

表7(続き) 病原体検出状況 -2017年-

(定点把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
流行性角結膜炎	検査症例数			1		1	2	1	1					6
	アデノウイルス3型								1					1
	アデノウイルス56型					1								1
	アデノウイルス19型						1							1
	アデノウイルス53型						1							1
	アデノウイルス54型								1					1
無菌性髄膜炎	検査症例数		1	1		1	1	1	1			1	1	8
	ライノウイルス		1			1							1	3
	ムンプスウイルス								1					1
	不検出			1			1	1				1		4
薬剤耐性緑膿菌感染症	検査症例数						1	1				1		3
	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> AmpC β-ラクタマーゼ産生性						1	1				1		3

(全数把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
細菌性赤痢	検査症例数						1	1						2
	<i>Shigella sonnei</i>						1	1						2
腸管出血性大腸菌感染症 *1	検査症例数	1	1	4	2	2	1	2	54	14	6	7	3	97
	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT1&2				1		1		3	4	1	2		12
	<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT1&2								1	1		3		5
	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT2	1				2			4	3			1	11
	<i>Escherichia coli</i> O26:H11 VT1		1	4	1				6	6	5	2		25
	<i>Escherichia coli</i> O103:H11 VT1								35					35
	<i>Escherichia coli</i> O115:H10 VT1							1	2				2	5
	<i>Escherichia coli</i> O121:H19 VT2								2					2
	<i>Escherichia coli</i> O111:HUT VT1&2											1		1
	<i>Escherichia coli</i> O145:H- VT2							1						1
	<i>Escherichia coli</i> OUT:H45 VT2								1					1
<i>Escherichia coli</i> OUT:H11 VT1									1				1	
腸チフス	検査症例数			1										1
	<i>Salmonella</i> Typhi			1										1
E型肝炎	検査症例数				1									1
	不検出				1									1
A型肝炎	検査症例数		1		1	1								3
	A型肝炎ウイルス IA型		1		1	1								3
オウム病 *2	検査症例数					1	1							2
	不検出					1	1							2
ジカウイルス感染症 症疑い	検査症例数	1				2	1							4
	不検出	1				2	1							4
重症熱性血小板減少症候群疑い	検査症例数			1		1								2
	不検出			1		1								2
つつが虫病	検査症例数			1		1					3	1		6
	つつがムシ病リケッチア Kuroki型										2			2
	つつがムシ病リケッチア Kawasaki型										1	1		2
デング熱疑い *3	検査症例数		1				1	1			1			4
	デングウイルス1型							1						1
	デングウイルス3型		1											1
	<i>Campylobacter jejuni</i>										1			1
日本紅斑熱疑い	検査症例数					1								1
	不検出					1								1
レジオネラ症	検査症例数			1	1	1		1				1		5
	<i>Legionella pneumophila</i> SG1			1	1			1						3
	不検出					1						1		2

*1 重複検出2例を含む(O103:H11 VT1とOUT:H11 VT1:8月1例、O157:H7 VT1&2とO157:H- VT1&2:11月1例)

*2 2例とも国立感染症研究所で抗体検査実施(抗体価の有意上昇なし)、病原体遺伝子検出未実施

*3 *Campylobacter jejuni*検出例は消化器症状あり

表7(続き) 病原体検出状況 -2017年-

(全数把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症	検査症例数	1		1	1		1	6	1			3	14	
	<i>Enterobacter cloacae</i> (IMP-1型MBL産生性)							1					1	
	<i>Providencia rettgeri</i> (IMP-1型MBL産生性)											1	1	
	<i>Enterobacter aerogenes</i> (カルバペネマーゼ非産生性)	1			1				1			1	4	
	<i>Enterobacter cloacae</i> (カルバペネマーゼ非産生性)								4			1	5	
	<i>Serratia marcescens</i> (カルバペネマーゼ非産生性)				1								1	
	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (カルバペネマーゼ非産生性)							1	1				2	
急性脳炎 *1	検査症例数	1			1	1			1	2	2	1	9	
	ヒトヘルペスウイルス6型	1											1	
	ヒトヘルペスウイルス7型	1											1	
	RSウイルス									2			2	
	ライノウイルス								1				1	
	不検出				1	1					2	1	5	
劇症型溶血性レン サ球菌感染症	検査症例数	2		1				1		1		2	7	
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1型	1						1				1	3	
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4型											1	1	
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12型			1									1	
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264型	1											1	
<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>									1			1		
風しん	検査症例数		1		1							1	3	
	不検出		1		1							1	3	
麻疹	検査症例数	1			1				2	1		1	6	
	不検出	1			1				2	1		1	6	

*1 重複検出1例を含む(ヒトヘルペスウイルス6型と7型:1月)

(その他の疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
敗血症	検査症例数	1											1	2
	不検出	1											1	2
上気道炎	検査症例数								1				1	1
	RSウイルス								1					1
下気道炎	検査症例数		1										1	1
	不検出		1											1
心筋炎	検査症例数				1	1		1	1		1		5	5
	ライノウイルス										1		1	1
	不検出				1	1		1	1				4	4
その他	検査症例数			1									1	2
	不検出			1									1	2

※表中には、2017年に検体が採取され2018年に届出された症例および届出基準に合致せず届出されなかった症例を含む。

岐阜県感染症発生動向調査年報 2017 年（平成 29 年）
2019 年 1 月発行

岐阜県保健環境研究所
疫学情報部 感染症情報センター

〒504-0838 各務原市那加不動丘 1 丁目 1 番地

TEL 058-380-2100（代） FAX 058-371-5016

E-mail c22614@pref.gifu.lg.jp

HP <http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>